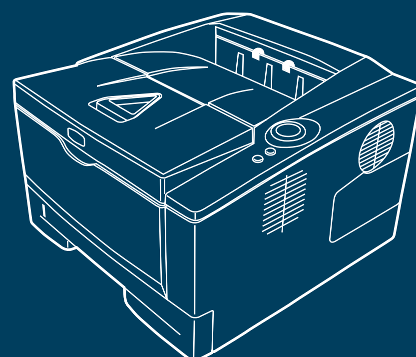
KYOCERA

# 使用説明書



## ▸FS-1300D

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
また、お読みになった後は、本機の近くに保管してください。

## はじめに

FS-1300D をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

# 目次

# 安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

## 法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

## 本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープモード」に移行する省エネ制御機能を備えています。

### スリープモード

最後に使用してから約 15 分を経過すると、自動的に「スリープモード」に移行します。なおスリープモードへの移行時間は、5 分から 240 分の間で変更可能です。詳しくは、3-15 ページの Configuration Tool を参照してください。

## 自動両面機能について

本製品は、標準で用紙の両面に印刷できる機能を備えています。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙に両面印刷することで、紙の使用量を軽減できます。詳しくは、**KX プリンタドライバ 操作手順書**を参照してください。

## 再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

## 国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム




当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

## グリーン購入




本製品は「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律)」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

## 本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



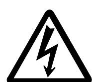
**警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



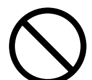
**注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示

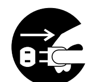
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

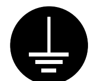
「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

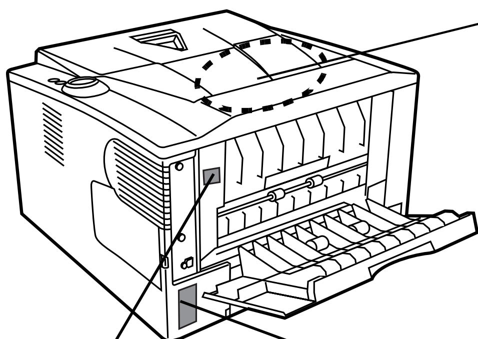
本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。



# 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷や感電などの事故のないようご注意ください。



**レーザー光に関する警告**
**（本体内部）**

DANGER ・CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION ・CLASE 3B RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT ・KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE ・CLASSE 3B RADIAZIONE LASER INVISIBILE IN CASO DI APERTURA. EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION ・CLASSE 3B RADIACIONE LASER INVISIBLE CUANDO SE ABRE. EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! ・AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
警告 ・该产品为3B类不可见激光产品，打开盖子后会有激光辐射，请避免光束照射。
警告 ・該產品爲3B類不可見激光產品，打開蓋子後會有激光輻射，請避免光束照射。
위험 ・CLASS 3B 불가시 레이저광선을 직접 보지마십시오.
警告 ・ここを開くとクラス3B不可視レーザー光がでます。ビームを直接見たり、触れないでください。

CAUTION
HOT SURFACE
ACHTUNG
HEISSE OBERFLÄCHE
ATTENTION
TEMPÉRATURE ÉLEVÉE
ATTENCION
EXTERIOR CALIENTE
ATTENZIONE
SUPERFÍCIE CHE SCOTIA
高温注意
고온주의

**高温注意**

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

FS-1300D AC 100V 50/60Hz 8.9A
京セラミタ株式会社
VCI
注意 CAUTION
修理は、すべてサービス担当者におまかせください。 Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。 Disconnect main power cord before servicing.
外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。 Do not remove covering panel.
>ABS< DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA

**定格ラベル**

一般的な注意と消費電力を表示しています。

**お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。**

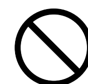


# 機械を設置する時のご注意

### 設置環境について



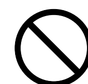
本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

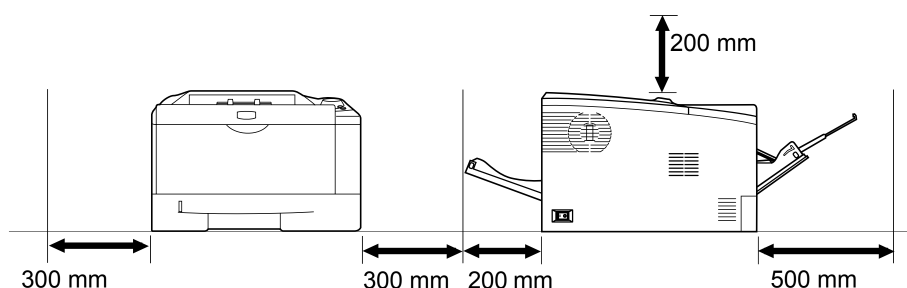


本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械背面には通気口があり、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。






### その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 60 %RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

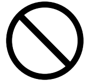
- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

#### 設置電源・アースについて



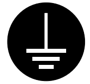
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



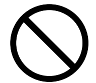
#### その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

#### ビニールの取り扱いについて



本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

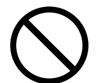


## 取り扱い上のご注意

#### 機械の取り扱いについて



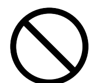
本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



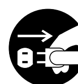
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



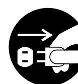
本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

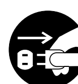


## 注意

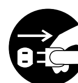
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



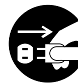
夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、必ず所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



### その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

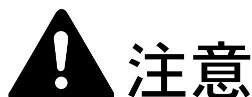
印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

本書に記載されていないことは行わないでください。

### 消耗品の取り扱いについて




トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



### その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

### 補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

### ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

## 商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- PC-PR201/65A は日本電気株式会社の製品です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- VP-1000 はセイコーエプソン株式会社の製品です。ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- IBM5577 は、日本アイ・ビー・エム株式会社の製品です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Server および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 本プリンタがエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL 6 は、米国 Peerless Systems Corporation が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Systems Corporation（2381 Rosecrans Ave. El Segundo, CA90245, U.S.A.）の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、Flash、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornade™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品は、USB インプリメンターズ・フォーラムの認証試験に合格しています。




## IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、２）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、3）「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状の状態で提供されます。

この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

１）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる申し立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の予見の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

## フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク ® の商標です。

## Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

# 本機の特長

本機は以下の特長を備えています。

## 概要

### 高速印刷

A4 サイズで 1 分間に 28 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります)。

### 多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろんのこと、OHP 用紙や、ラベル紙、ハガキ、その他にも特殊な用紙種類にも印刷可能です。

### KIR（Kyocera Image Refinement）

京セラ独自のスムージング機能です。この機能はプリンタの解像度をソフト的に向上させ、高品質な印刷を実現します。初期設定ではオンに設定されています。

### 高品位のプリントアウト

Fine1200 モードでは、解像度 1200 dpi の印刷を行うことができます。また、KIR 技術により、300 dpi や 600 dpi でも鮮明で高品質な印刷を実現します。

### スリープモード

一定の時間内にプリンタの設定やデータの受信が行われなかった場合、電力の消費を抑えるスリープモードを搭載しています。

### エコプリント

トナーの消費量を抑えて印刷を行うエコプリント機能を搭載しています。エコプリント機能を使うと同量のトナーでより多くの印刷が可能です。

### EcoFuser による消費電力の節約

EcoFuser がオン（初期設定）のとき、Ready 時でも定着器の電源がオフになり、消費電力を節約できます。EcoFuser のオン / オフは Configuration Tool から設定できます。

### トナーコンテナ装着メモリチップ対応

純正品のトナーコンテナに装着されているメモリチップに対応し、トナー残量警告やトナー交換警告などの情報を、**ステータスモニタ**上に表示します。

## ハードウェア

### 給紙カセット

給紙カセットには普通紙（64 g/m²）で約 250 枚、手差しトレイには約 50 枚の用紙を収納できます。

### Hi-Speed USB インタフェースを採用

Hi-Speed USB に準拠したインタフェースで、コンピュータとのデータ転送を高速かつ安定して行います。

### CF カード（メモリカード）スロット

CF カードをプリンタに装着できます。CF カードを装着すると、オプションフォント、マクロ、フォームなどが使用できるようになります。

## ソフトウェア

### 用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP シート、ラベル紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことにより、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

### 多彩なフォントを搭載

スケーラブルフォントは欧文 80 種類、ビットマップフォントは欧文 1 種類を内蔵しています。

### プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォントや図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現できます。

### ステータスモニタ

ステータスモニタは、プリンタの状態を確認できるユーティリティです。付属の CD-ROM に収録しています。

### Configuration Tool

Configuration Tool は、プリンタの設定を必要に応じて変更できるユーティリティです。付属の CD-ROM に収録しています。

## ネットワーク機能（IB-23 装着時）

### ネットワークインタフェースを装備

オプションのネットワークインタフェースカード（IB-23）は、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI および AppleTalk プロトコルをサポートしています。Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

# 使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

### 1　各部の名称

本体各部の名称を説明しています。

### 2　用紙について

使用できる用紙の仕様および用紙の補給方法について説明しています。

### 3　使用前の準備

プリンタを使用する場合に必要な操作、ソフトウエアの機能、およびアプリケーションで作成した文書の印刷方法ついて説明しています。

### 4　日常のメンテナンス

トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

### 5　困ったときは

トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

### 6　オプションについて

本機で使用できるオプションについて説明しています。

### 7　環境設定コマンド

環境設定コマンドの FRPO パラメータで設定できる値について説明します。

### 8　本機の仕様

本機の仕様を説明しています。

## 付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

### 使用説明書（本書）

本機のトナーの補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

### インストールガイド

本機の開梱から設置の手順について説明しています。

### 日常のお手入れ

紙づまりの処置と清掃のしかたを説明しています。

### プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

### KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

### 京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録、IB-23 使用時に参照）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

## 本書の読みかた

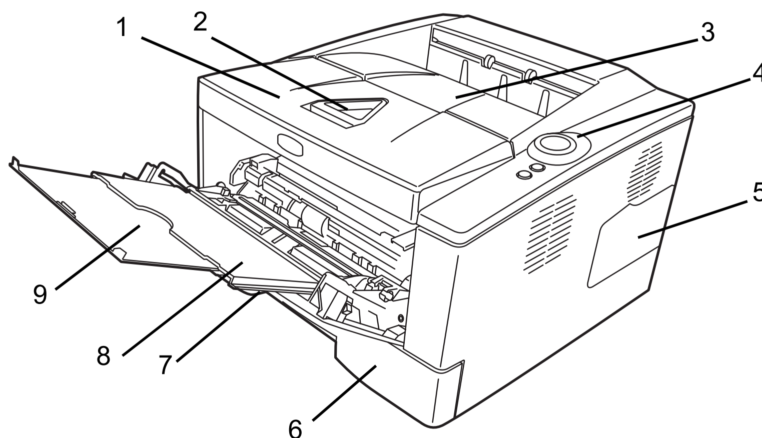
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

| 表記 | 説明 | 表記例 |
|---|---|---|
| [太字] | 操作パネル上のキーとインジケータを示します。 | [GO] キーを押すと印刷が再開されます。 |
| 太字 | 製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。 | **ロックレバー** を矢印の方向へ動かして、**トナーコンテナ**を固定します。<br>設定を確認し、**インストール**をクリックします。 |
| 参考 | 補足説明や操作の参考となる情報です。 | **参考**：プリンタに付属しているトナーコンテナでは、上記と同じ条件で約 3,600 イメージです。 |
| 重要 | トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。 | **重要**：**ドラムユニット**は立てて置かないでください。 |
| 注意 | けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法について書かれています。 | **注意：ドラムユニットを取り外すと、高温になっている部分があります。やけどのおそれがありますのでご注意ください。** |

# 1　各部の名称

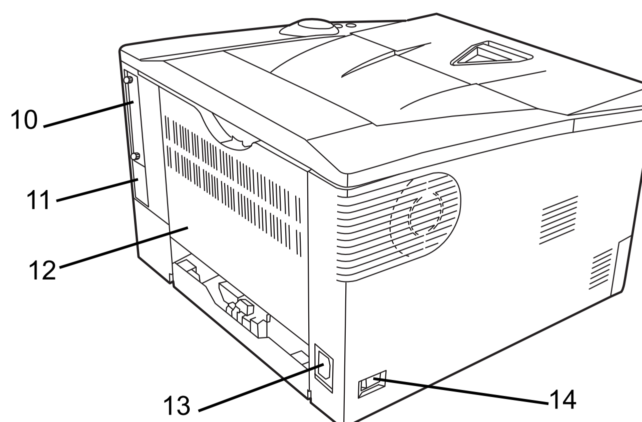
この章では、本体の各部を説明します。

## プリンタ前面および右側面



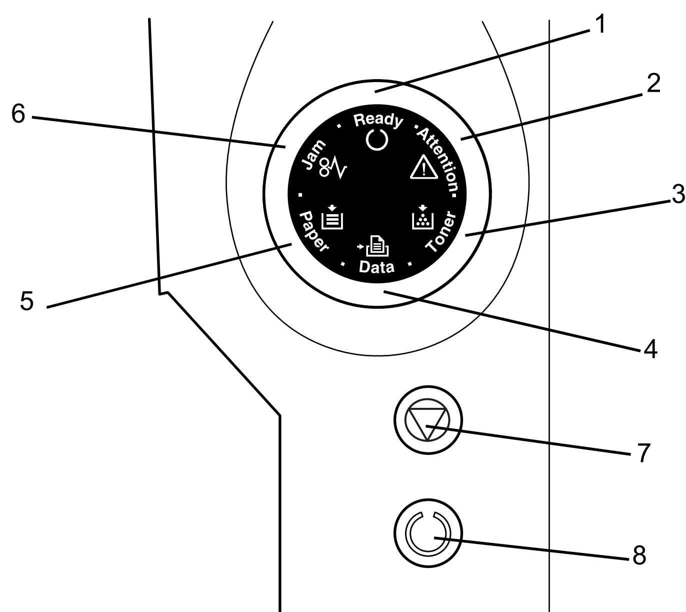

1 上カバー
2 ペーパーストッパ
3 排紙トレイ
4 操作パネル
5 右カバー
6 給紙カセット
7 前カバー
8 手差しトレイ
9 サブトレイ

## プリンタ左側面および背面




10 オプションインタフェーススロットカバー
11 USB インタフェースコネクタ
12 後カバー
13 電源コードコネクタ
14 電源スイッチ

# 操作パネル




1　［Ready］インジケータ
2　［Attention］インジケータ
3　［Toner］インジケータ
4　［Data］インジケータ
5　［Paper］インジケータ
6　［Jam］インジケータ
7　［Cancel］キー
8　［GO］キー

# インジケータの表示と意味

プリンタの右上部には、6 種類のインジケータがあります。次の表は、インジケータの表示パターンによるプリンタの状態をまとめたものです。

| インジケータ | 状態 | 意味 |
|---|---|---|
| Ready（緑色） | 点灯 | オンライン中です。印刷できます。 |
| | 速い点滅 | オフライン中です。印刷はできませんが、ジョブは受信できます。 |
| | 遅い点滅 | プリンタはスリープモード中です。[GO］キーを押すとスリープから復帰します。 |
| | 消灯 | エラーが発生しました。印刷を停止しています。 |
| Data（緑色） | 点灯 | データ処理中です。またはメモリにアクセス中です。 |
| | 速い点滅 | データ受信中です。 |
| | 消灯 | データを受信していません。 |
| Jam（オレンジ） | 点灯 | 紙づまりが発生しています。 |
| | 消灯 | 正しく動作しています。 |
| Paper（オレンジ） | 点灯 | 印刷中に用紙がなくなりました。 |
| | 速い点滅 | 指定した給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダに用紙がありません。給紙カセットが装着されていません。 |
| | 消灯 | 正しく動作しています。 |
| Attention（オレンジ） | 点灯 | カバーが開いています。<br>下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。 |
| | 速い点滅 | Jam、Toner、Paper および Attention 以外のエラー状態になっています。 |
| | 消灯 | 正しく動作しています。 |
| Toner（オレンジ） | 点灯 | トナー切れのため、プリンタが停止しました。 |
| | 速い点滅 | トナーが残り少なくなってきています。 |
| | 消灯 | 正しく動作しています。 |

**参考**：6 つのインジケータが不規則な点灯および点滅を繰り返す場合、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。**ステータスモニタ**を使用すると、プリンタの状態を確認できます。詳しくは、3-15 ページの Configuration Tool を参照してください。

# キーの機能

次の表は、各キーの名称と基本的な機能をまとめたものです。

| キー | 使用状況 | 操作 | 機能 |
|---|---|---|---|
| Cancel | | 1 回押す | PC からのデータ受信を中止します。 |
| GO | Ready 時 | 1回押す | オンラインとオフラインを切り替えます。 |
| | | 3秒から9秒押し続ける | ステータスページを印刷します。 |
| | | 10 秒以上押し続ける | サービスステータスページを印刷します。 |
| | エラー時 | 1回押す | エラーを解除します。 |
| | 用紙切れ時 | 1回押す | 使用できる給紙元に自動的に切り替えて印刷を再開します。 |

# 2　用紙について

この章では以下の内容について説明します。



**重要**：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

# 用紙の基本仕様

本機は、ページプリンタおよびコピー用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内でさまざまな用紙に印刷できます。

プリンタに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP フィルム、ラベル用紙、封筒などの用紙は、手差しトレイから給紙して排紙トレイに排紙してください。

**重要**：再生紙は 2-2 ページの**用紙の基本仕様**のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

## 使用できる用紙

通常のページプリンタまたはコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンタの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使用すると満足のいく結果が得られません。

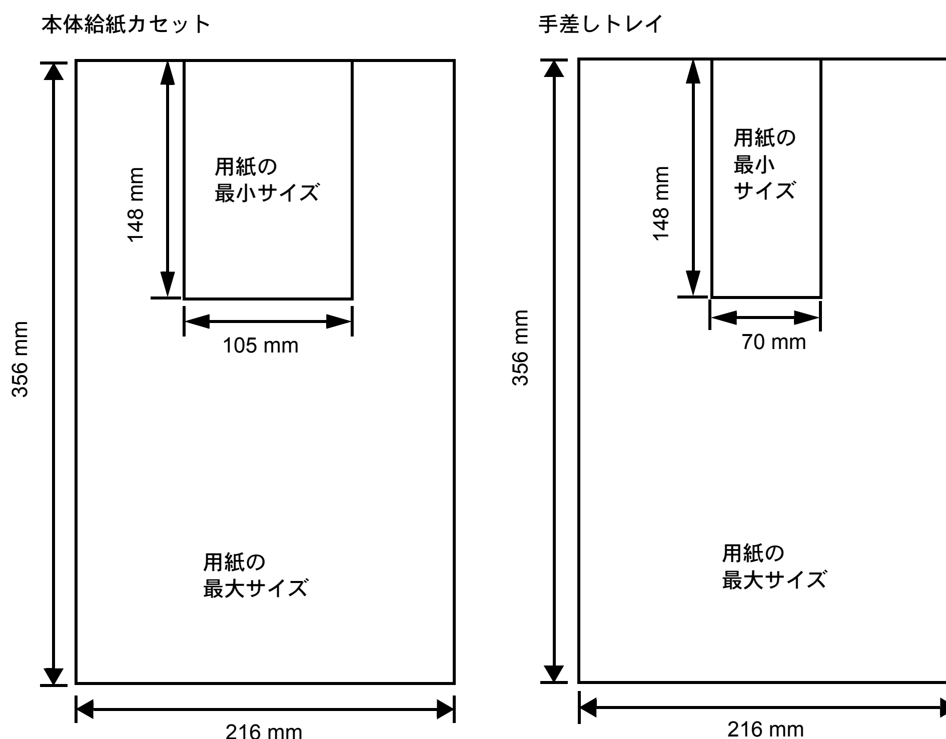
## 用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 重さ | 給紙カセット：60 ～ 120 g/m²<br>手差しトレイ：60 ～ 220 g/m² |
| 厚さ | 0.086 ～ 0.110 mm |
| 寸法 | 2-4 ページの**用紙サイズ**を参照してください。 |
| 寸法誤差 | ±0.7 mm |
| 四隅の角度 | 90 ±0.2° |
| 保水度 | 4 ～ 6 % |
| 繊維の方向 | 縦目（給紙方向） |
| パルプ含有率 | 80 % 以上 |

## 用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。不定形サイズのうち、B6 サイズ、はがき、封筒などは手差しトレイから給紙してください。




**参考**：ペーパーフィーダ（PF-100）の最小用紙サイズは、148 × 210 mm です。

## 適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

## ガイドライン

### 紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙、または繊維が毛羽立っている用紙、表面が粗い用紙、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面は滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

### 用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

### 用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセットまたは手差しトレイで使用できます。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は 90°±0.2° のものを使用してください。

| 手差しトレイ | サイズ | 給紙カセットまたは手差しトレイ | サイズ |
|---|---|---|---|
| Envelope Monarch | 3-7/8 × 7-1/2 インチ | Legal | 8-1/2 × 14 インチ |
| Envelope #10 | 4-1/8 × 9-1/2 インチ | Letter | 8-1/2 × 11 インチ |
| Envelope #9 | 3-7/8 × 8-7/8 インチ | Statement† | 5-1/2 × 8-1/2 インチ |
| Envelope #6 | 3-5/8 × 6-1/2 インチ | Oficio II | 8-1/2 × 13 インチ |
| Envelope DL | 110 × 220 mm | Excective | 7-1/4 × 10-1/2 インチ |
| B6 | 128 × 182 mm | ISO A4 | 210 × 297 mm |
| はがき | 100 × 148 mm | ISO A5 | 148 × 210 mm |
| 往復はがき | 148 × 200 mm | A6† | 105 × 148 mm |
| 洋形 2 号 | 114 × 162 mm | Folio | 210 × 330 mm |
| 洋形 4 号 | 105 × 235 mm | ISO B5 | 176 × 250 mm |
| Custom | 70 × 148 ～ 216 × 356 mm | JIS B5 | 182 × 257 mm |
| | | Envelope C5 | 162 × 229 mm |
| | | 16 K | 197 × 273 mm |
| | | Custom | 105 × 148 ～ 216 × 356 mm†† |
| | | | 148 × 210 ～ 216 × 356 mm††† |

† ペーパーフィーダ（PF-100）では使用できません。
†† 給紙カセット使用時のサイズ。縦の長さが297mm以上の場合は、定型サイズの用紙としてISO A4、Officio II、Folio、Legalを使用できます。
††† ペーパーフィーダ（PF-100）使用時のサイズ。縦の長さが 297mm 以上の場合は、定型サイズの用紙としてISO A4、Officio II、Folio、Legalを使用できます。

## 用紙の特性

#### 滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らかすぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因となります。

#### 基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さは給紙カセットで 60 ～ 120 g/m²、手差しトレイで 60 ～ 220 g/m² の範囲です。

### 厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、また薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

### 保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでカサカサになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ～ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

### 繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようカットされるものと、用紙の幅に対して紙の繊維が垂直（横目）になるようカットされるものとがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になる場合がありますので、用紙は縦目のものをお使いください。

## その他の仕様

### 多孔性

紙の繊維の密度を表します。

### 硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

### カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

### 静電気について

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

### 用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷が得られます。

### 品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

### 梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

### 特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙
- パンチ穴の開いている用紙

# 特殊な用紙

ここでは、特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。

- 薄い用紙（60 ～ 64 g/m²）
- 厚い用紙（90 ～ 220 g/m²）
- OHP フィルム
- はがき
- 封筒
- ラベル用紙
- 再生紙
- カラー紙
- プレ印刷用紙
- ボンド紙
- レターヘッド
- パンチ済み用紙
- 上質紙
- カスタム（1 ～ 8）

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。

## 特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

### OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着の熱に耐えるものである必要があります。次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。この条件を満たさない OHP フィルムを使用すると、プリンタの故障の原因になりますのでご注意ください。

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 耐熱性 | 最低 190 °C までの熱に耐えること。 |
| 厚さ | 0.100 ～ 0.110 mm |
| 材質 | ポリエステル |
| サイズ誤差許容範囲 | ±0.7 mm |
| 四隅の角度 | 90° ± 0.2° |

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンタに向けて）セットしてください。また、排紙するときは、排紙トレイを使用してください。

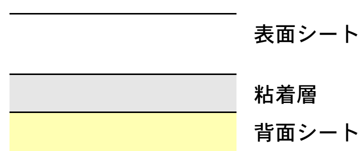
### ラベル用紙

ラベル用紙は必ず手差しトレイから 1 枚ずつ給紙してください。いちどに給紙できる枚数は 1 枚です。

ラベル用紙を選択する際は、のりがプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類にのりが付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると故障の原因になります。

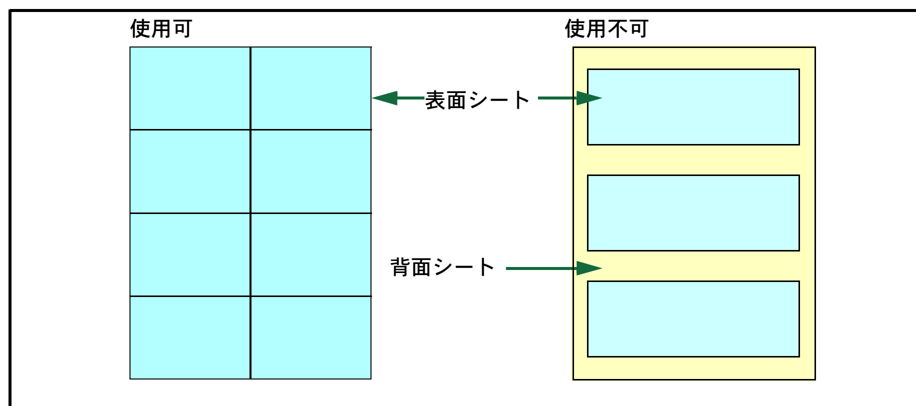
**参考**：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生する可能性があります。




ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

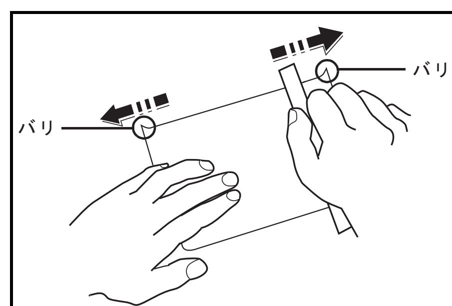
| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 表面シートの重さ | 44 ～ 74 g/m² |
| 基本重量（用紙全体の重さ） | 104 ～ 151 g/m² |
| 表面シートの厚さ | 0.086 ～ 0.107 mm |
| 用紙全体の厚さ | 0.115 ～ 0.145 mm |
| 保水度 | 4 ～ 6 %（混合） |

### はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。ハガキに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復ハガキに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。




### 封筒

印刷できる封筒は、基本重量が 70 ～ 100 g/m² の用紙で作られているものです。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタをとおり抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足のいくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

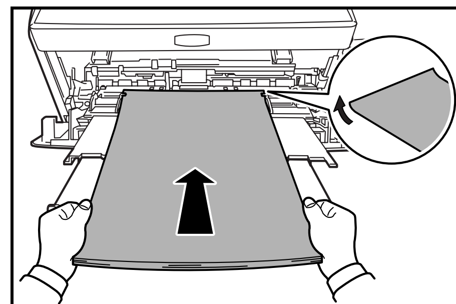
封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

- のりが露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすとのりが現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。のりをカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため排紙トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

### 厚い用紙

厚い用紙は、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、2-9 ページの**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

**参考**：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数 mm 上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。



### カラー紙

カラー紙は 2-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 °C）に耐えるものでなければなりません。

### プレ印刷用紙

プレ印刷用紙（あらかじめ印刷がされている用紙）は 2-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工をほどこしてある紙は使用しないでください。

### 再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 2-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。

**参考**：再生紙を購入する前に、印刷が満足のいくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

## 用紙の種類

本機は、使用できる用紙の種類を設定して印刷できます。

あらかじめ選択されている用紙だけでなく、カスタム用紙を選択し、重さを定義できます。用紙の種類は、**KX ドライバ**や**ステータスモニタ**から定義できます。使用できる用紙の種類は次のとおりです。

| 用紙の種類 | 給紙元 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 手差しトレイ | 給紙カセット | 用紙の重さ | | 両面印刷 |
| | | | 範囲 | ステータスモニタ内での表示 | |
| 普通紙 | ○ | ○ | 64 〜 90g/m² | 普通 2 | ○ |
| OHP シート | ○ | × | OHP シート | 超重い | × |
| プレプリント | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 2 | ○ |
| ラベル紙 | ○ | × | 105 〜 135g/m² | 重い 1 | × |
| ボンド紙 | ○ | ○ | 90 〜 105g/m² | 普通 3 | ○ |
| 再生紙 | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 2 | ○ |
| 薄紙 | ○ | × | 64g/m² 未満 | 軽い | × |
| ざら紙 | ○ | ○ | 90 〜 105g/m² | 普通 3 | ○ |
| レターヘッド | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 3 | × |
| カラー紙 | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 3 | ○ |
| パンチ済み紙 | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 2 | ○ |
| 封筒 | ○ | × | 135 〜 170g/m² | 重い 3 | × |
| はがき | ○ | × | 135 〜 170g/m² | 重い 3 | × |
| 厚紙 | ○ | × | 135 〜 170g/m² | 重い 3 | × |
| 上質紙 | ○ | ○ | 75 〜 90g/m² | 普通 2 | ○ |
| カスタム 1 (to 8)† | ○ | ○ | 75 〜 220g/m² | 普通 2 | ○†† |

† カスタムタイプは8種類まで登録できます。詳細は、**KXプリンタドライバ 操作手順書**を参照してください。

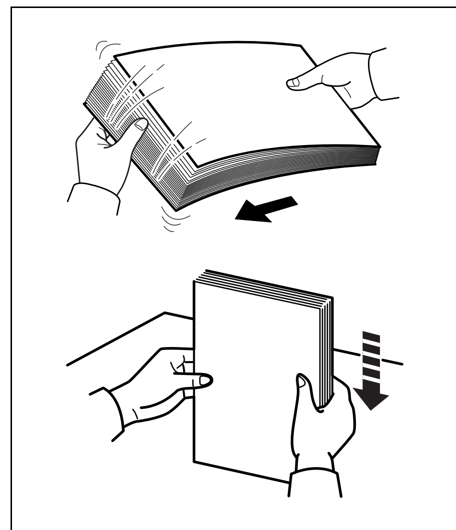
†† カスタムタイプを指定した場合、両面印刷するかどうかを**ステータスモニタ**から設定できます。

# 用紙の補給

本機は 1 段の本体給紙カセット、2 段のオプションペーパーフィーダおよび、手差しトレイに用紙をセットできます。

給紙カセットとペーパーフィーダには、普通紙（64 g/m²）をそれぞれ約 250 枚収納できます。セットできる用紙サイズは、本体給紙カセットが A6 〜 Legal まで、オプションのペーパーフィーダは A5 〜 Legal までです。

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の先端をよく揃えてください。

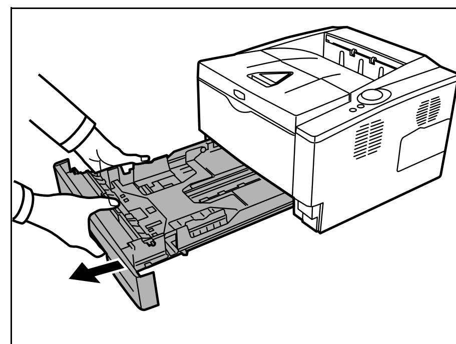


## 給紙カセット

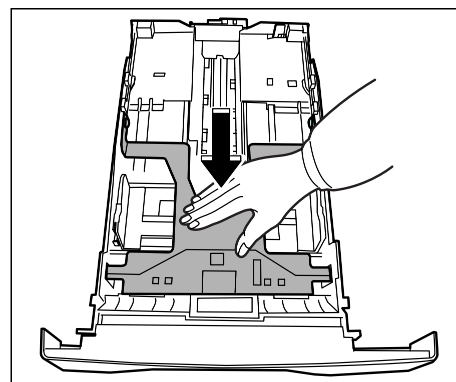
次の手順で給紙カセットに用紙を補給します。

1 **給紙カセット**を図のように引き出します。

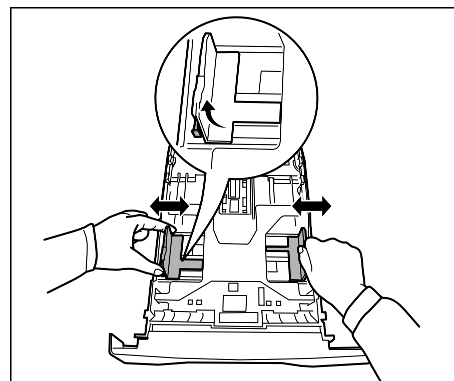
**重要**：プリンタから給紙カセットを引き出す際に、落とさないように注意してください。



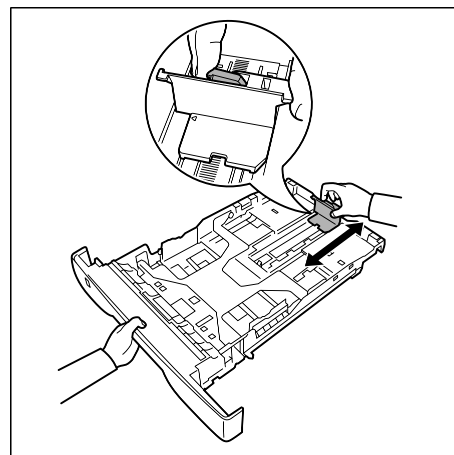
2 給紙カセットの底板をロックするまで押し下げます。



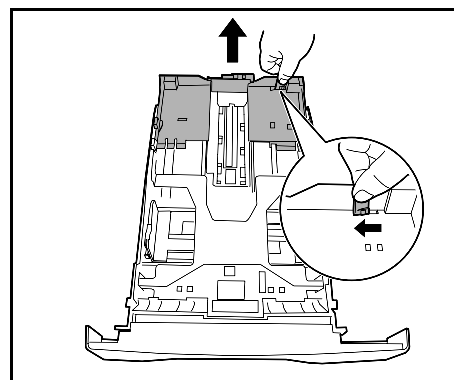
**3** カセットの左右にある横ガイドの位置を調節します。左側の横ガイドにあるつまみを押し上げながら、両手で左右の横ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



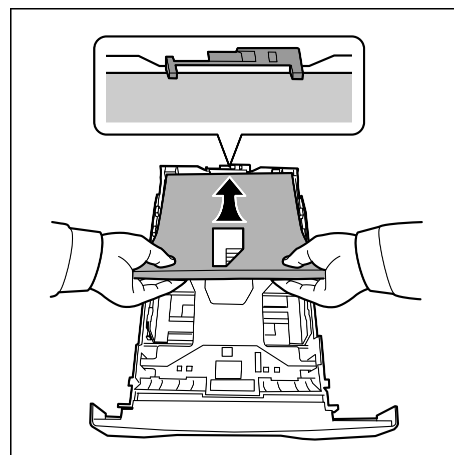
**4** つまみを押し上げながら、縦ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



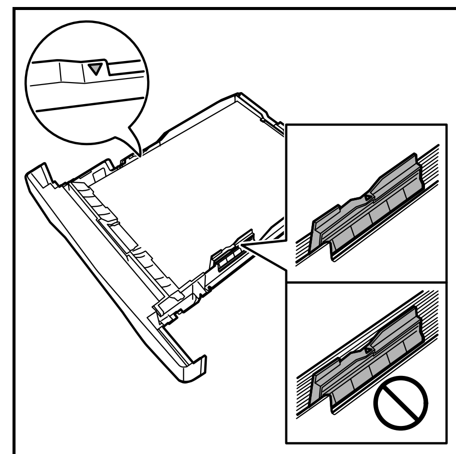
A4 より長いサイズの用紙に印刷する場合は、ロックレバーを押しながら、拡張給紙カセットを矢印方向にスライドさせます。そして、用紙サイズに合うようにカセットのサイズを調整します。



**5** 用紙の端をそろえ、印刷する面を下にして、図のように**給紙カセット**に入れます。

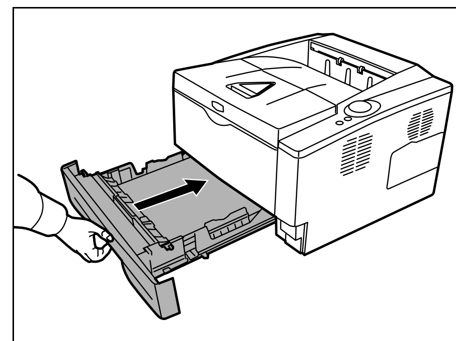


**参考**：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 250 枚までです。

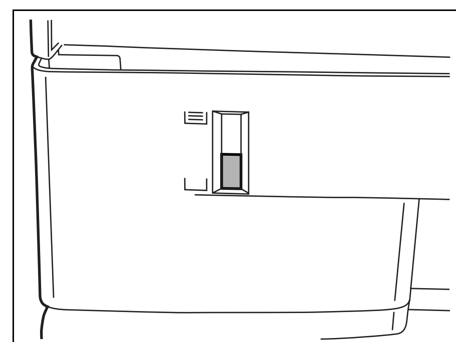


6 **給紙カセット**を奥まで押し込みます。

**参考**：プリンタを長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、給紙カセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。また、高温、高湿度の環境で用紙を保管する場合は、用紙を湿気から守るためにビニール袋などに入れて密封してください。



**給紙カセット**前面の左側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。



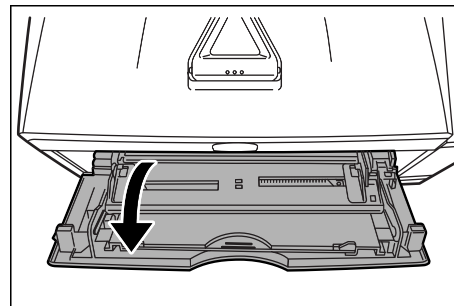
## 手差しトレイ

普通紙の他に、特殊紙もセットできます。OHP フィルムおよび厚い用紙などの特殊紙に印刷するときは、必ず手差しトレイを使用してください。

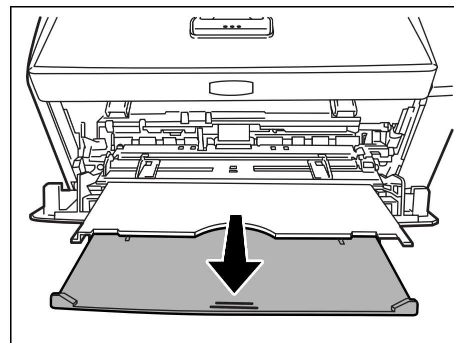
**重要**：OHP フィルムなどの特殊な用紙に印刷する場合は、用紙の種類設定を正しく行って印刷してください。詳しくは **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

**参考**：普通紙（64 g/m²）を約 50 枚までセットできます。OHP フィルムは 1 枚ずつ給紙してください。

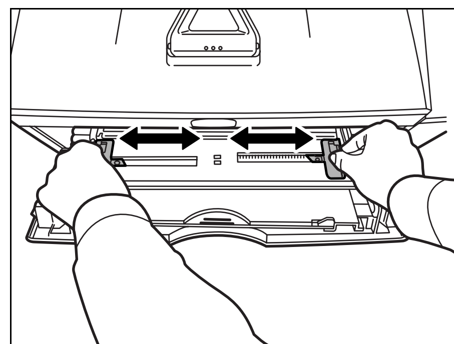
**1** **手差しトレイ**を手前に、止まるまで開きます。



**2** **サブトレイ**を引き出します。



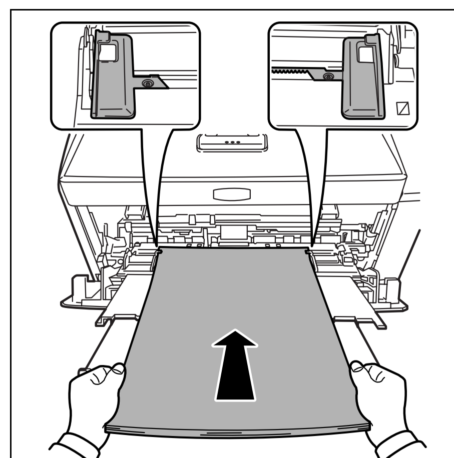
**3** 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されているので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



**4** 用紙ガイドに沿って、止まるまで用紙を挿入します。

**重要**：印刷される面を上向きに用紙をセットしてください。（用紙を開封したとき、印刷される面が上側になります。）先端が反っている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

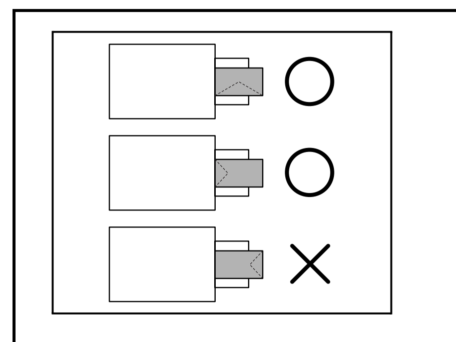
用紙ガイドのつめの高さを越えないように用紙をセットしてください。



**重要**：すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

| | | |
|---|---|---|
| ○ | | |
| × | | |

封筒をセットするときは開封部を閉じたまま、印刷する面を上にしてください。開封部が手前側または左側になるように、用紙ガイドに沿わせて止まる位置まで挿入してください。



**重要**：開封口に、のりなどの接着剤が付いている封筒は、接着剤が露出した状態で印刷を行わないでください。プリンタの故障の原因になります。

**5** Configuration Tool で手差しトレイの用紙サイズと種類を設定します。詳しくは、3-15 ページの Configuration Tool を参照してください。

# 3 使用前の準備

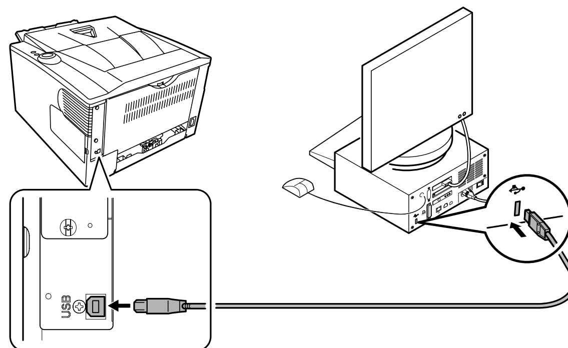
この章では、プリンタを使用できるようにするための接続方法やソフトウエアのインストール方法について説明します。

# 接続について

ここでは、本機と PC との USB ケーブル、および電源ケーブルの接続方法について説明します。

## USB インタフェース

本機を使用するには、まず USB ケーブルを本機と PC に接続する必要があります。




1 USB ケーブルを、本機背面にある **USB インタフェース**に接続します。（USB ケーブルは別売です。）

**参考**：USB ケーブルは、長方形型のタイプ A のプラグ（PC 側）と、正方形型のタイプ B（プリンタ側）のプラグを備えたケーブルを使用してください。また、5m 以下のシールドされているケーブルを使用してください。

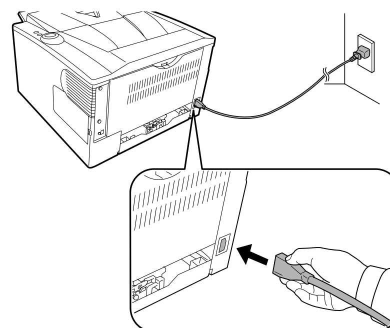
2 USB ケーブルの一方を、PC の **USB インタフェース**に接続します。

## 電源コードの接続

電源はプリンタが無理なく接続ができる、近くのコンセントにつないでください。延長コードを使用しなければならない場合には、合計の長さは 5m 以下にしてください。

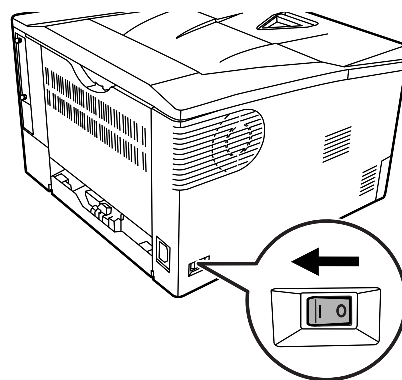
**重要**：プリンタの電源スイッチがオフ（◯）であることを確認してください。また、電源コードは本機に付属しているものを使用してください。

1 本機背面の**電源コードコネクタ**に、電源コードを接続します。



2 電源コードの一方をコンセントに接続します。

**3** **電源スイッチ**を押して（|）、プリンタの電源を入れます。



---

**重要**：トナーコンテナを装着してプリンタの電源をオンにすると、［Toner］インジケータから反時計回りに点滅を始めます。購入後トナーコンテナをプリンタに装着して初めて電源をオンにした際は、印刷できる状態になるまで約 15 分間（トナー補給中）かかります。［Ready］インジケータ（緑色）が点灯すれば、印刷準備は完了です。

---

# プリンタドライバのインストール

インストールガイドに従って本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。プリンタドライバの詳細は、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

## Windows PC へのインストール

本機を Windows PC に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールします。ここでは、Windows Vista にインストールをする例で説明します。

---

**参考**：Windows Vista、Windows XP および Windows 2000 にインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

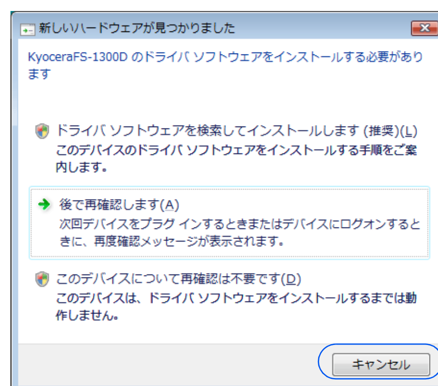
---

**1** プリンタと PC の電源が入り、接続されていることを確認します。

---

**参考**：USB インタフェース接続の場合、プラグアンドプレイによって、右のような画面が表示されます（Windows XP の場合は、**新しいハードウェアの検索ウィザード**）。必ず**キャンセル**をクリックしてください。

---




**2** 付属の CD-ROM（Product Library）を、PC の光学ドライブにセットします。**自動再生**画面が表示された場合（Windows Vista のみ）は、**Setup.exe の実行**をクリックします。

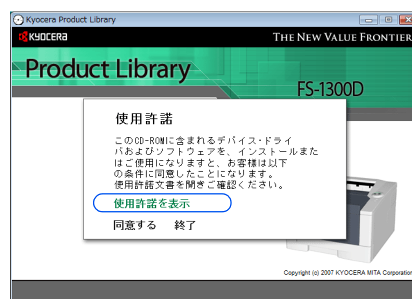
しばらくすると、CD-ROM の使用許諾画面が表示されます。

---

**参考**：CD-ROM を入れても使用許諾画面が表示されない場合は、Windows のエクスプローラから CD-ROM のルートディレクトリを開き、Setup.exe をダブルクリックしてください。

---

**3** **使用許諾を表示**をクリックして内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。メインメニューが表示されます。



4 **ソフトウェアのインストール**をクリックします。**インストール方法の選択**画面が表示されます。




**参考**：Windows XP の場合、**ソフトウェアのインストール**をクリックすると、**ソフトウェアインストール**ウィザードが起動します。**次へ**をクリックすると、**インストール方法の選択**画面が表示されます。

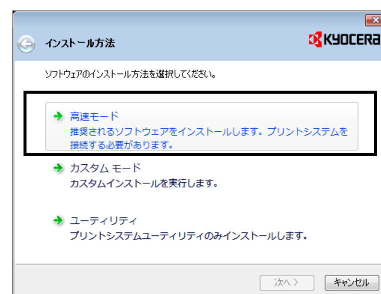
5 インストール方法を選択します。インストール方法には、**高速モード**と**カスタムモード**の 2 種類があります。以降、該当する手順に進んでください。

- **高速モード**：プリンタが USB またはネットワークで接続され電源が入っていると、インストーラがプリンタを検出します。標準的なインストールを行う場合は、高速モードを選択してください。
- **カスタムモード**：必要に応じてインストールする内容を選択したり、ポートを指定したりできます。

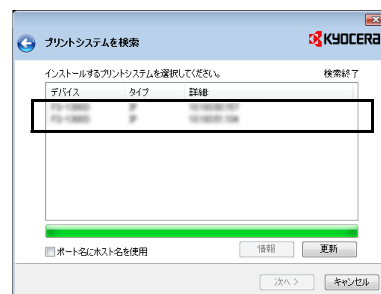
## 高速モード

**高速**モードを選択すると、プリンタドライバとフォントがインストールされます。**高速モード**でインストールした後に、**カスタムモード**で他のユーティリティを追加できます。

1 **インストール方法の選択**画面で、**高速モード**をクリックします。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラがプリンタの検出を行います。プリンタが検出されない場合、プリンタが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻ってください。




2 インストールするプリンタを選択し、**次へ**をクリックします。




3 **設定の確認**画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

**参考**：インストールの途中で Windows **セキュリティ**画面が表示された場合は、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。Windows XP で**ハードウェアのインストール**画面が表示された場合は、**続行**をクリックしてください。

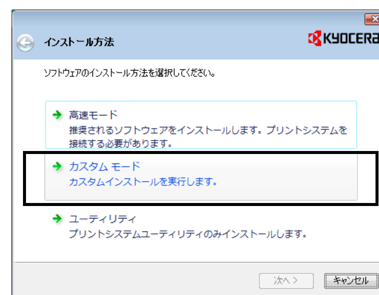
4 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

## カスタムモード

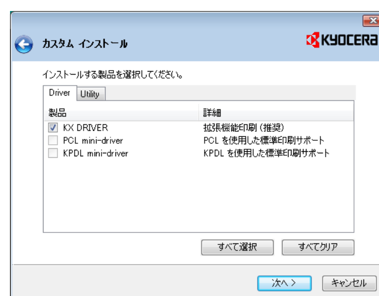
**カスタムモード**は、プリンタポートやインストールするソフトウェアを任意に選択する場合に使用します。

たとえば、PC にインストールされているフォントを上書きしないとき、**カスタムモード**を選択し、**インストール画面**の**フォント**のチェックを外します。

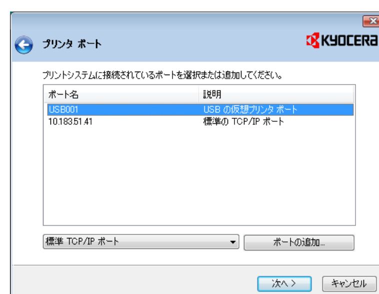
1 **インストール方法の選択**画面で、**カスタムモード**をクリックします。




2 **カスタムインストール**画面の Driver タブと Utility タブで、インストールするプリンタドライバとユーティリティを選択し、**次へ**をクリックします。




3 **プリンタポート**画面で、プリンタに接続されているポートを選択または追加し、**次へ**をクリックします。




4 **設定の確認**画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

---

**参考**：インストールの途中で Windows **セキュリティ**画面が表示された場合は、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。Windows XP で**ハードウェアのインストール**画面が表示された場合は、**続行**をクリックしてください。

---

5 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

## Macintosh へのインストール

本機を Macintosh に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバ（MiniDriver）をインストールします。

1 本機と Macintosh の電源を入れます。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.2 and 10.3 Only または OS X 10.4 をダブルクリックします。

5 Kyocera OS X Japanese x.x をダブルクリックします。プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

6 インストールプログラムの表示にしたがってプリンタドライバをインストールします。

# 印刷のしかた

ここでは、アプリケーションソフトからの基本的な印刷手順について説明します。次の画面は、印刷する際の印刷設定画面の例です。それぞれのタブで行える設定を簡単に説明しています。プリンタドライバの詳しい操作や設定については、付属の CD-ROM（Product Library）に収録されている **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

## プリンタドライバの構成

**プリンタドライバ**は次のタブで構成されています。




**基本設定**
用紙のサイズや向きの設定、給紙元、および両面印刷を選択します。

**プロファイル**
プリンタドライバから行った設定を保存しておくことにより、再度設定することなくその設定を呼び出せます。

**レイアウト**
1 枚の用紙への複数ページ印刷、拡大 / 縮小などの設定を行えます。

**品質設定**
解像度や印刷濃度の設定、TrueType フォント、グラフィックの設定を行います。

**表紙 / 合紙**
印刷時に表紙や裏表紙を追加したり、ページを挿入したりできます。また OHP シートへの印刷時に合紙を差し込むことができます。

**拡張機能**
印刷ジョブにテキストページを挿入できます。また、ドキュメント中にすかし文字や地紋文字を書き込むことができます。

## アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

**1** 給紙カセットに用紙を入れます。

**2** アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択します。**印刷**ダイアログボックスが表示されます。

**3** プリンタのリストから印刷するプリンタ（Kyocera FS-1300D KX）を選択します。

**4** 印刷したい部数を**部数**に入力します。**部単位で印刷**にチェックマークを付けると、丁合されて出力されます。

**5** OK をクリックします。印刷が始まります。

---

**参考**：プリンタドライバのその他の機能については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

---

# ステータスモニタ

**ステータスモニタ**は、プリンタの状態を監視し、逐次報告する機能を備えています。また、プリンタドライバに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。
プリンタドライバをインストールすると、**ステータスモニタ**も自動的にインストールされます。

## ステータスモニタの起動

**ステータスモニタ**は、次のいずれかの方法で起動します。

- 印刷開始時に起動：
  **ステータスモニタ**は、プリンタを指定して印刷を開始すると、1 つのプリンタ名につき、1 つ起動します。複数台にプリンタを指定した場合、指定したプリンタの数だけ**ステータスモニタ**が起動します。
- プリンタドライバプロパティから起動：
  プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスから**バージョン情報**ボタンをクリックします。**バージョン情報**ダイアログボックスにある**ステータスモニタ**ボタンをクリックすると、**ステータスモニタ**が起動します。

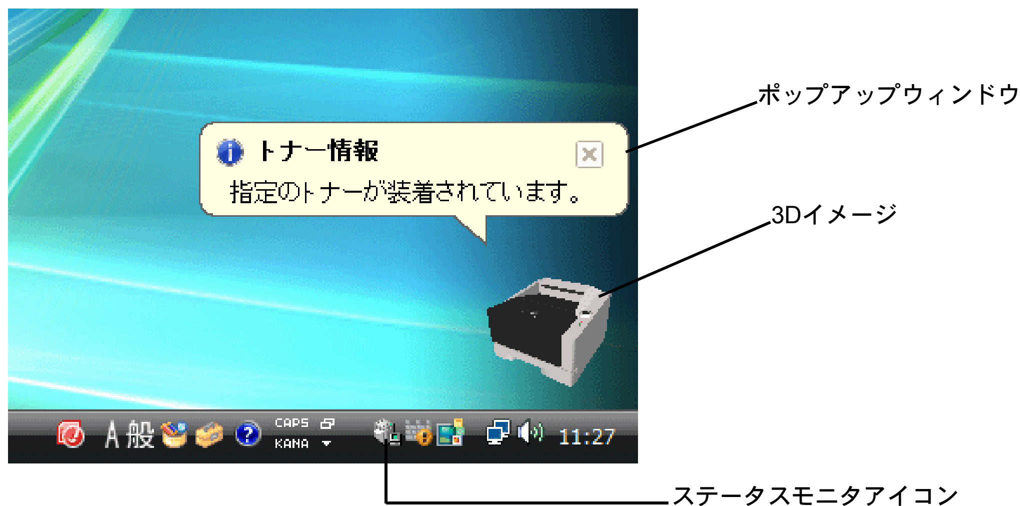
## ステータスモニタの終了

**ステータスモニタ**は、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：
  タスクバーのステータスモニタアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニタ**が終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で 5 分経過すると、**ステータスモニタ**が自動的に終了します。

## ステータスモニタの構成

**ステータスモニタ**の構成は次のとおりです。




### ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3D イメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

### 3D イメージ

監視対象のプリンタの状態を 3D イメージで表示します。ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。
情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、3-12 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

### ステータスモニタアイコン

**ステータスモニタ**が起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンタの名称が表示されます。

## ステータスモニタの設定

ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから **ステータスモニタの設定**を選択すると、2 つのタブで構成されるウィンドウが表示されます。このタブからステータスモニタの各種設定ができます。

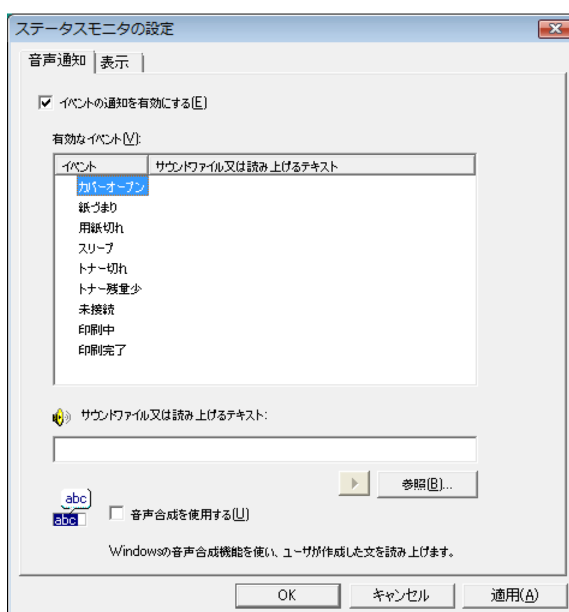
### 音声通知タブ

**音声通知**タブでは、次のような設定ができます

---

**重要：音声通知**タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカなど音声を再生する環境が必要です。

---




#### イベントの通知を有効にする

**イベントリスト**に該当するエラーが発生した場合、音声で通知を行うかどうかを設定します。

#### サウンドファイル又は読み上げるテキスト

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**ファイルの参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

#### 音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP 以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

**音声通知**タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 **イベントの通知を有効にする**を選択します。

2 サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

---

**参考**：使用できるファイルの形式は WAV ファイルです。

---

**音声合成を使用する**を選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。

3 **有効なイベント**リストから、イベントを選択します。

4 **再生**をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

## 表示タブ

**表示**タブでは、次のような設定ができます。




### ウィンドウ拡大

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**のサイズやフォントを 2 倍に拡大します。

### 常に手前に表示

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を常にウィンドウの前面に配置します。複数の**ステータスモニタ**でこの設定が有効になっている場合、**3D イメージ**は重ねて表示されます。

### 透明度

**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を半透明なウィンドウとして表示します。0%（透過なし）から 50% まで設定できます。

# Configuration Tool

Configuration Tool は、**ステータスモニタ**の機能の一つで、プリンタドライバに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。

## Configuration Tool の起動

次の手順に従って、PC のデスクトップ上に Configuration Tool を表示します。

**参考**：Configuration Tool を使用する場合、あらかじめ**ステータスモニタ**を起動する必要があります。詳しくは、3-10 ページの**ステータスモニタの起動**を参照してください。

1 Windows のタスクバーにある**ステータスモニタ**アイコンを右クリックします。

2 メニューから**プリントシステムの設定**を選択します。Configuration Tool ウィンドウが表示されます。

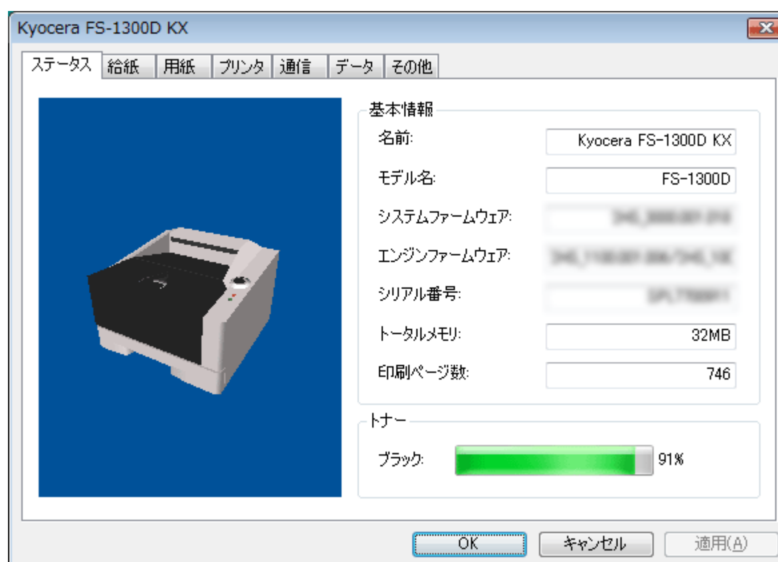
## Configuration Tool の終了

Configuration Tool は、次のいずれかの方法で終了します。

- **クローズ**ボタンからの終了：
  Configuration Tool 画面右上にある[X]をクリックします。
- OK または**キャンセル**ボタンからの終了：
  OK をクリックするとプリンタの設定が変更された状態で終了します。**キャンセル**をクリックすると設定が変更される前の状態で終了します。

## ステータスタブ

**ステータス**タブは、機種名、システムファームウェア、エンジンファームウェア、印刷ページ数などのプリンタに関する現在の情報を表示します。




## 給紙タブ

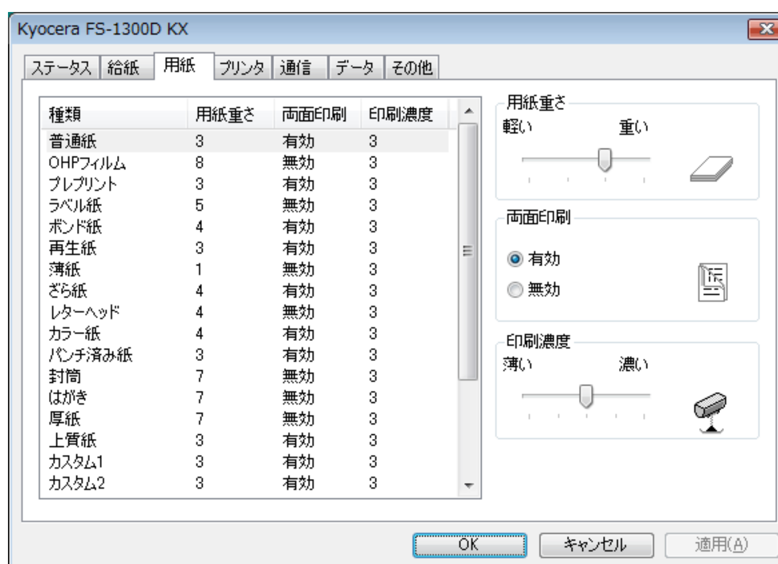
**給紙**タブは、給紙元の用紙種類や用紙残量、最大積載枚数を表示します。使用できる給紙元は、用紙サイズや用紙種類が変更できます。

**優先給紙元**から**カセット 1 ～ 3** のいずれかを選択し、さらに**サイズ**から**カスタム**を選択した場合は、カスタムサイズの**幅**と**長さ**を設定できます。



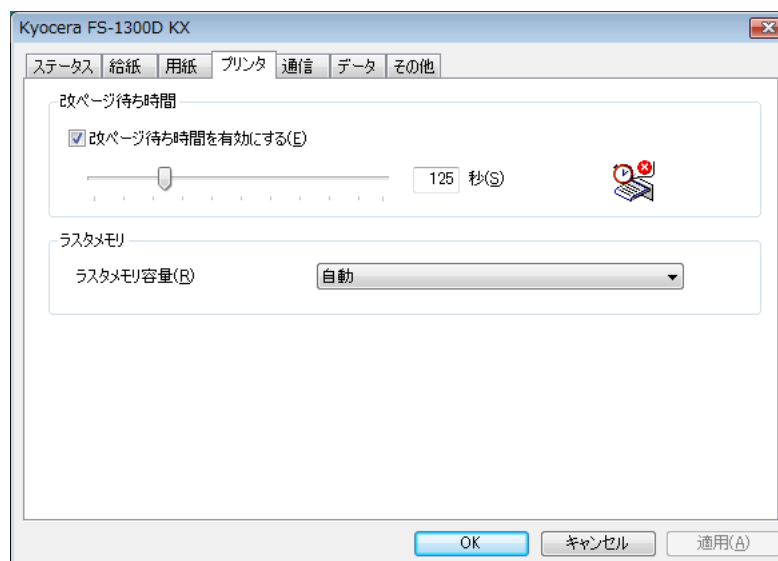
## 用紙タブ

**用紙**タブは、各給紙元で使用する用紙種類に対して、用紙の重さ、印刷濃度、および両面印刷許可を設定します。



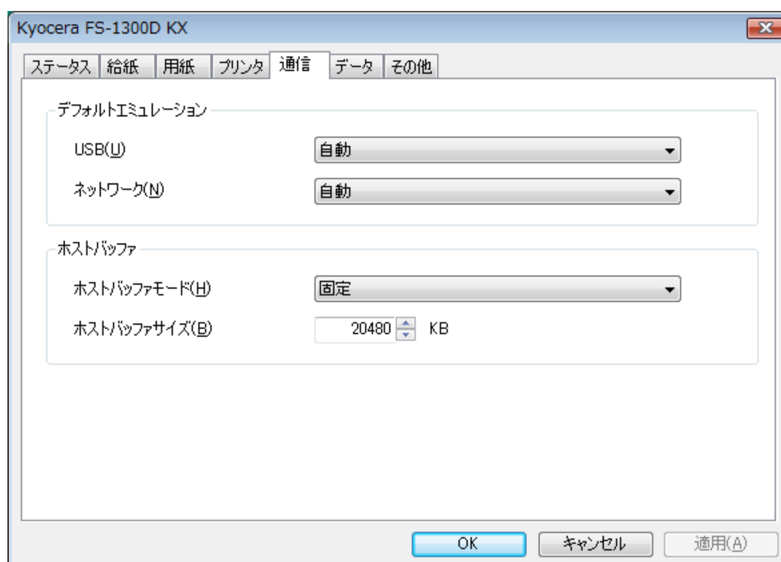

## プリンタタブ

**プリンタ**タブは、KX ドライバには実装されていない印刷処理に関する値を設定できます。改ページ時間のほかに、印刷時に使用するメモリサイズを変更できます。**ラスタメモリ容量**の初期設定は**自動**ですが、ビットマップや JPEG などの大容量のデータを印刷する場合は、メモリ不足によりエラーが発生するのを防ぐため、**オン**に設定してください。



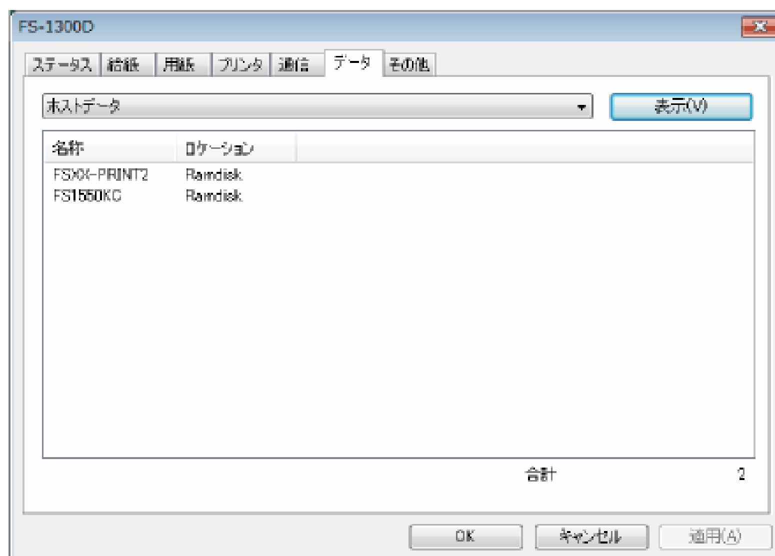
## 通信タブ

**通信**タブは、エミュレーションを設定できます。また、ホストとの通信処理にプリンタが使用するバッファのモードや、バッファメモリのサイズを変更できます。




## データタブ

**データ**タブは、CF カードや RAM ディスクに保存されているデータを取得して、一覧で表示します。データの種類を選択してから**表示**をクリックすると、対象データの一覧をプリンタから取得して表示します。表示するデータは、名称、タイプ、およびロケーションです。



## その他タブ

**その他**タブは、先に説明したタブに該当しない機能を設定できます。




| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| オートスリープ | **拡張**をクリックすると、オートスリープのオン / オフを切り替えられます。**オン**に設定すると、自動的にスリープ状態に移行するまでの時間を設定できます。初期設定値は 15 分です。 |
| EcoFuser | EcoFuser のオン / オフを切り替えます。**オン**に設定すると、スリープ時に定着器のヒータを切り、消費電力を抑えることができます。初期設定は**オン**です。 |
| 操作パネルロック | 操作パネルのロック / アンロックを設定します。**オン**に設定すると、操作パネルからのキー操作ができなくなります。初期設定は**オフ**です。 |
| RAM ディスク | RAM ディスクの有効 / 無効を切り替えます。有効にすると、RAM ディスクを受信バッファやフォントデータなどの一時的な保存領域として使用できるようになります。 |

## ソフトウェアのアンインストール

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

1 **ソフトウェアの削除**をクリックします。Kyocera Uninstaller ウィザードが表示されます。

2 削除したいソフトウェアを選択します。

3 **アンインストール**をクリックします。

---

**参考**：Windows Vista の場合、**ドライバとパッケージを削除する**画面が表示されます。**ドライバとパッケージを削除する**を選び、OK をクリックします。

---

ソフトウェアの削除が開始されます。

4 アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。

5 システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

# 4　日常のメンテナンス

この章では、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

# トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、[Toner] インジケータが点滅します。この状態でもそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと [Toner] インジケータが点灯して、プリンタは停止します。新しいトナーコンテナを用意して交換してください。

## トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナは、約 7,200 イメージ印刷するごとに交換する必要があります(A4/ 印刷率約 5 % で、エコプリントモードがオフの場合)。

**参考**:プリンタに付属しているトナーコンテナでは、上記と同じ条件で約 3,600 イメージです。

### トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 回収用ポリ袋(使用済みのトナーコンテナを入れてください)
- 説明書
- トナーコンテナ引き取り回収依頼書

**重要**:トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

プリンタのトラブルを防止し、長期間安定した印刷品質を実現するため、純正トナーキットを使用してください。純正トナーキット以外を使用した場合は、印刷の品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

トナーコンテナは、国内向けに販売されているものを使用してください。国内向け以外のトナーコンテナを使用した場合、プリンタの動作が停止することがあります。

**参考**:本製品のトナーコンテナに装着されているメモリチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別できる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

## トナーコンテナの交換方法

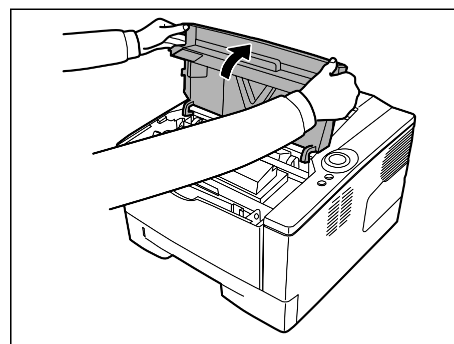
次に手順にしたがって、トナーコンテナを交換します。トナーコンテナ交換時は、以下の一連の手順でプリンタ内部の清掃も行ってください。



**注意：トナーコンテナは火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。**

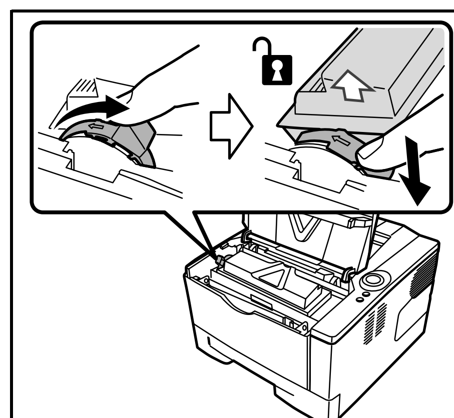
**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

1 **上カバー**を開きます。

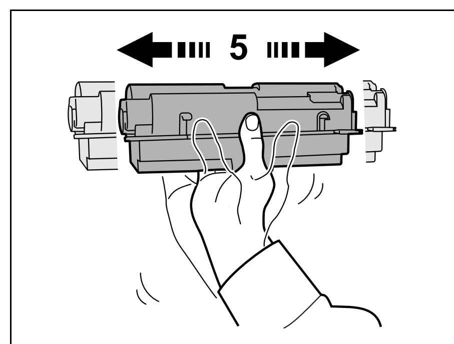


2 **ロックレバー**を RELEASE の方へ倒します。続いて、**ロックレバー**を矢印（⬇）方向へ押し込むと、**トナーコンテナ**の片側が浮き、取り外せます。

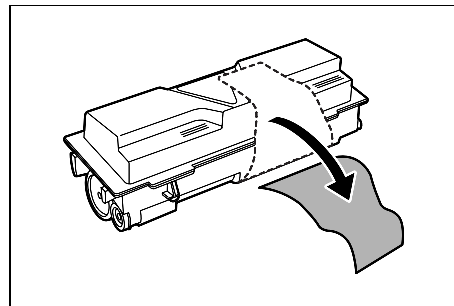
**重要**：使用済みのトナーコンテナは、トナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



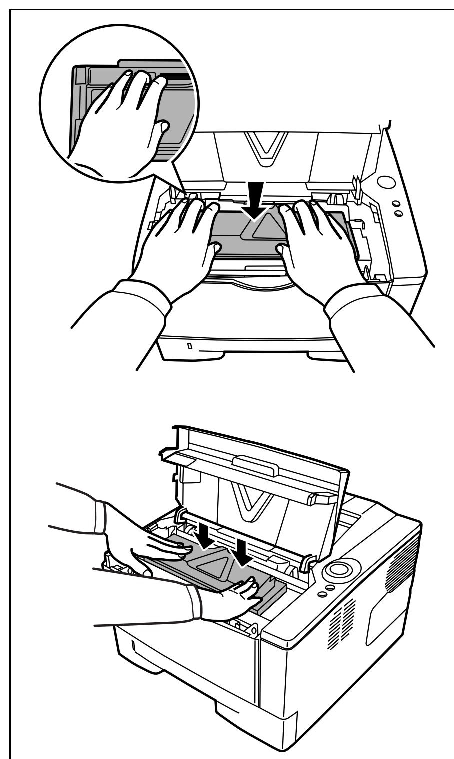
3 トナーキットから新しい**トナーコンテナ**を取り出し、内部のトナーが均一になるように、水平方向に 5 回振ります。



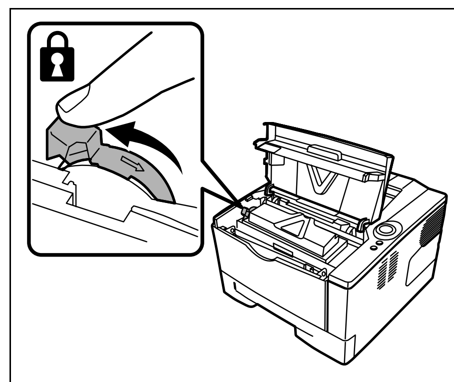
**4** オレンジ色の保護シールを取り除きます 。



**5** 新しい**トナーコンテナ**をプリンタに装着します。**トナーコンテナ**上部の PUSH の部分を、手ごたえがあるまで押し込んで確実に装着してください。



**6** **ロックレバー** を矢印の方向へ動かして、**トナーコンテナ**を固定します。



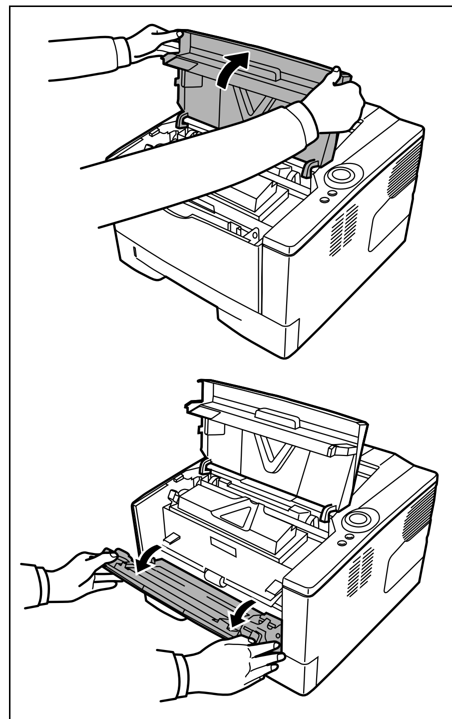
**7** **上カバー**を閉じます。

**参考**：京セラグループでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱の「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページ http://www.kyoceramita.co.jp を参照してください。

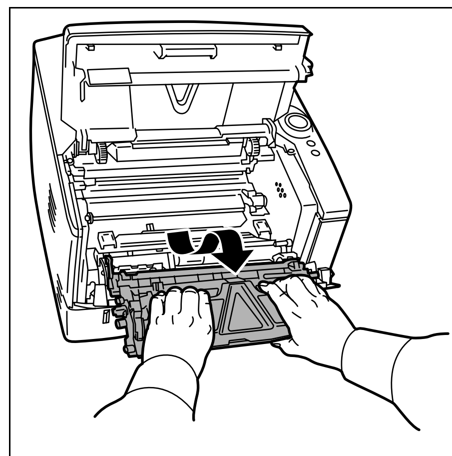
# プリンタの清掃

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時はプリンタ内部の清掃を行ってください。

1 **上カバー**と**前カバー**を開けます。

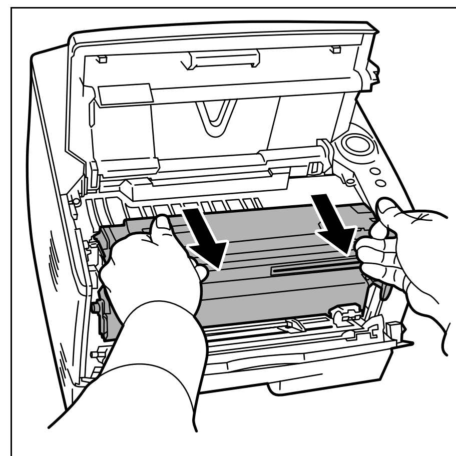


2 **トナーコンテナ**と一緒に、**現像ユニット**をプリンタから取り出します。



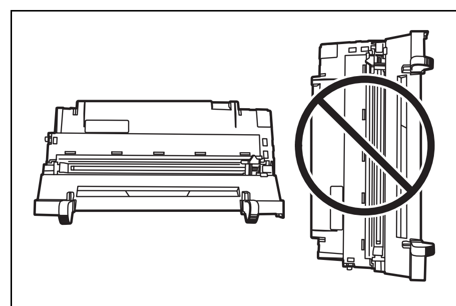
**3** 緑色の取っ手を両手で持ち、**ドラムユニット**を取り外します。

**重要**：ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。



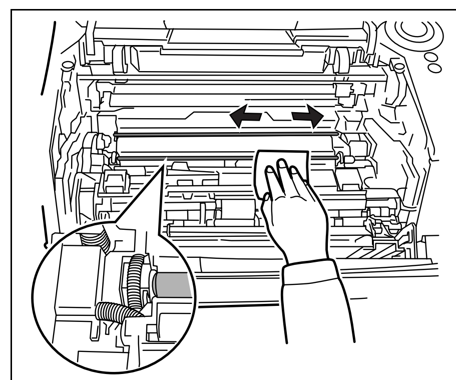
**4** 取り出した**ドラムユニット**を、汚れのない水平な場所に置きます。

**重要**：**ドラムユニット**は立てて置かないでください。



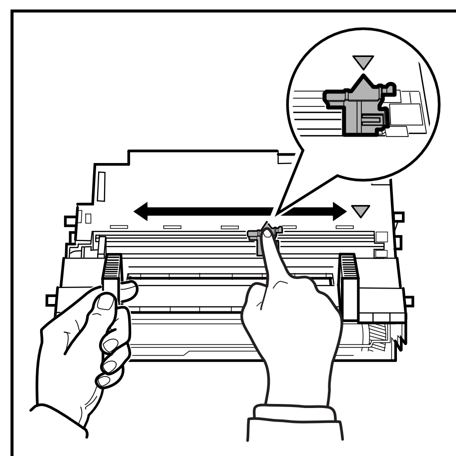
**5** 乾いた柔らかい布で、**レジストローラ**（金属）部に付着している紙粉や汚れを拭き取ります。

**重要**：清掃中は、**転写ローラ**（黒色）に触れないようご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

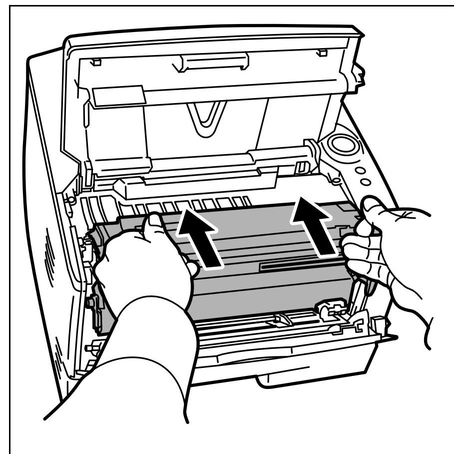


**6** **ドラムユニット**上側の**チャージャクリーナつまみ（緑色）**を、図のように 2、3 回左右にスライドさせます。

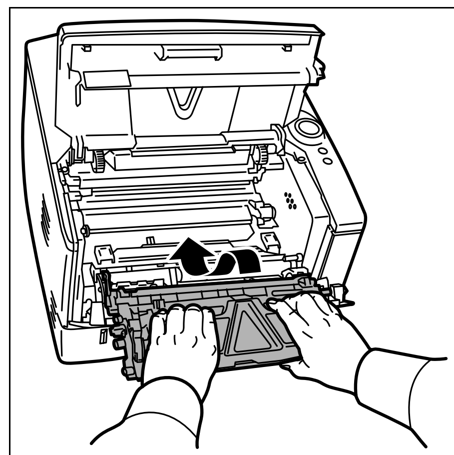
**重要**：清掃後は、**チャージャクリーナつまみ**を元の位置に戻してください。



**7** 清掃が完了したら、取り外した**ドラムユニット**をプリンタの左右のガイドに合わせてプリンタに戻します。



**8** **現像ユニット**をプリンタに戻して、**上カバー**と**前カバー**を閉じます。



# 5　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

# 一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみてください。

| 現象 | 確認事項 | 処置 |
|---|---|---|
| **印刷できない** | インジケータの表示パターンを確認し、1-4 ページの**インジケータの表示と意味**の表に照らし合わせてください。 | エラーが特定できたら、必要な処置を行ってください。<br>1-4 ページの**インジケータの表示と意味**の表にない表示パターンの場合は、一度電源スイッチを入れ直してみてください。 |
| | ステータスページが印刷できるか確認してください。 | ステータスページが印刷できる場合は、コンピュータとの接続に問題がある可能性があります。3-2 ページの**接続について**を参照して接続を確認してください。ステータスページの印刷方法については、1-5 ページの**キーの機能**を参照してください。 |
| **印刷の品質が悪い** | — | 5-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。 |
| **用紙がつまった** | — | 5-8 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。 |
| **電源を入れても、インジケータは消灯したままで、ファンの回る音もしない。** | 電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。 | 電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。 |
| | 電源スイッチがオン（❘）の位置になっているか確認してください。 | 電源スイッチをオン（❘）の位置にしてください。 |
| **ステータスページは正常に印刷するが、PC からのデータが正常に印刷されない。** | 接続しているケーブルを確認してください。 | 接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。<br>詳細については、**インストールガイド**を参照してください。 |
| | プログラムファイルやアプリケーションソフトを調べてみてください。 | 別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションソフトのプリンタ設定等を確認してください。 |

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

# 印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラから白紙出力などさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じ、処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

| 印刷例 | 処置 |
|---|---|
| **何も印刷しない** | トナーコンテナを確認してください。<br>プリンタの**上カバー**を開き、トナーコンテナがプリンタに正しく装着されているかを確認してください。詳しくは 4-3 ページの**トナーコンテナの交換方法**を参照してください。 |
| **全体に黒一色で印刷される** | お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。 |
| **白抜けや黒点が印刷される** | **ドラムまたは現像器が傷ついているかもしれません。何枚か印刷しても問題が解決されない場合は、ドラムまたは現像器を交換する必要があります。**お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。 |
| **白や黒の縦線が入る** | トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。<br>**チャージャワイヤ**を清掃してください。詳しくは 4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。<br>**ドラムユニット**の**チャージャクリーナつまみ**が正しい位置にあるか確認してください。詳しくは 4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。 |

| 印刷例 | 処置 |
|---|---|
| **画像が薄い、またはぼやける** | トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。<br>**チャージャワイヤ**を清掃してください。詳しくは 4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。 |
| **背景が灰色になる** | トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。<br>**現像ユニット**と**ドラムユニット**が、正しく装着されているか確認してください。ドラムユニットの装着については、4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。 |
| **用紙の先端や裏側が汚れる** | **何枚か印刷しても問題が解決しない場合は、レジストローラ**を清掃してください。詳しくは 4-5 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。<br>それでも問題が解決しない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。 |
| **印刷位置がずれる** | アプリケーションソフトまたはプリンタドライバの印刷設定が正しいか確認してください。<br>**プリスクライブコマンド**に誤りがないか確認してください。ある特定のファイルやプログラムだけで問題が起こる場合は、コマンドのパラメータや使い方が間違っている可能性があります。 |

# インジケータ表示

インジケータの表示は、基本的に通常時、メンテナンス、エラー（修理）の 3 つに分類されます。

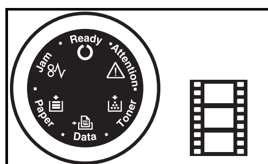
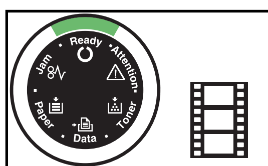
下の表にある をクリックすると、インジケータの点灯パターンを動画で再生できます。動画を繰り返し再生したいときは、インジケータを右クリックして表示されるメニューから**ループ再生**を選択したあと、**再生**を選択してください。

**重要**：動画を再生するには、Adobe Flash Player と Adobe Reader（6.01 以上）が必要です。「バッファ中」と表示されたままで動画が再生されない場合は、Adobe のホームページ（http://www.adobe.com/jp/downloads/）から最新のソフトウェアを入手し、インストールしてください。

## 通常時

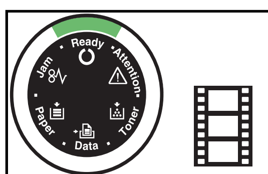
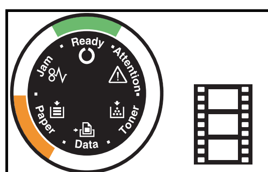
次の表は、プリンタが正常な状態のときのインジケータの表示をまとめたものです。

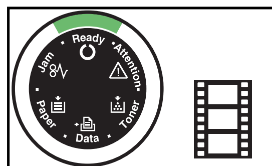
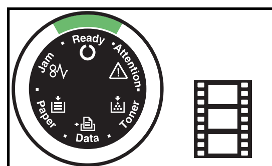
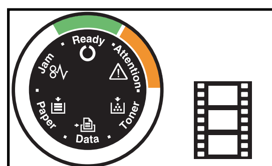
| インジケータの表示 | 処置 |
|---|---|
| | プリンタはデータをキャンセル中です。 |
| | プリンタはウォーミングアップ中です。 |
| | プリンタはトナー補給中です。 |
| | プリンタはデータを受信中です。 |
| | プリンタはデータを受信中です。 |
| | 最終ページが印刷されずに残っています。<br>［GO］キーを押すと強制的に改ページして、最終ページの印刷を開始します。 |
| | 待機後、プリンタは最後のページを印刷しています。 |

| インジケータの表示 | 処置 |
|---|---|
|  | プリンタは印刷可能な状態です。 |
|  | プリンタはオフラインの状態です。<br>印刷は行いませんが、データの受信は可能です。［GO］キーを押すとオンライン状態になります。 |
|  | プリンタがスリープモードになっています。<br>［Ready］インジケータが 5 秒ごとに点灯し、その他のインジケータは消灯します。［GO］キーを押したり、本体のカバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。 |

## メンテナンス要求表示

次の表は、処置が必要な状態のときのインジケータの表示をまとめたものです。

| インジケータの表示 | 処置 |
|---|---|
|  | 用紙が**給紙カセット**または**手差しトレイ**にありません。 |
| | **給紙カセット**の装着が不完全です。<br>**給紙カセット**を確実にプリンタに装着してください。 |
|  | **上カバー**が開いています。<br>**上カバー**を閉じてください。 |
| | 給紙経路の**ペーパーフィーダ**に**給紙カセット**が入っていません。または、**給紙カセット**が正しく挿入されていません。<br>**給紙カセット**を挿入し直してから、もう一度印刷してください。 |
| | **トナーコンテナ**または**現像ユニット**が装着されていません。<br>**トナーコンテナ**または**現像ユニット**を装着してください。 |
|  | プリンタドライバで指定した用紙が**給紙カセット**に入っていません。<br>**給紙カセット**（#[1 または 2]）に用紙を入れて印刷を再開してください。［GO］キーを押すと、給紙元を切り替えることができます。 |
| | 用紙サイズが一致しません。<br>給紙元の用紙サイズと、プリンタドライバで指定した用紙サイズや種類が異なる場合、**手差しトレイ**から給紙して印刷できます。**手差しトレイ**に適切なサイズや種類の用紙をセットして ［GO］キーを押すと印刷を開始します。<br>**手差しトレイ**以外から給紙したい場合は、［GO］キーを押すと、**給紙カセット**に切り替えることができます。<br>**手差しトレイ**に設定されている用紙サイズと異なるサイズの用紙を給紙すると、紙づまりが発生します。 |

| インジケータの表示 | 処置 |
|---|---|
|  | プリンタに用紙がつまりました。<br>プリンタの上カバーを開けて、つまった用紙を取り除いてください。 |
|  | トナーがもうすぐなくなります。新しいトナーコンテナを用意してください。 |
|  | トナーがなくなりました。新しいトナーコンテナに交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。 |
|  | メモリ不足により、指定された解像度で印刷できません。<br>オプションの拡張メモリをプリンタに増設してください。 |
| | **CF カード**がフォーマットされていません。フォーマットしてください。 |
|  | 指定されたファイルが見つかりません。<br>［GO］キーを押すと処理を続行します。［Cancel］キーを押すと処理を中止します。 |
| | 現在の印刷処理を継続できません。<br>［GO］キーを押すと処理を続行します。［Cancel］キーを押すと処理を中止します。 |
| | メモリ不足で印刷できません。<br>オプションの拡張メモリをプリンタに増設してください。<br>［GO］キーを押すと処理を続行します。［Cancel］キーを押すと処理を中止します。 |
| | データが複雑過ぎるため印刷できません。<br>データの内容が複雑過ぎるため印刷できません。<br>［GO］キーを押すと処理を続行します。［Cancel］キーを押すと処理を中止します。 |

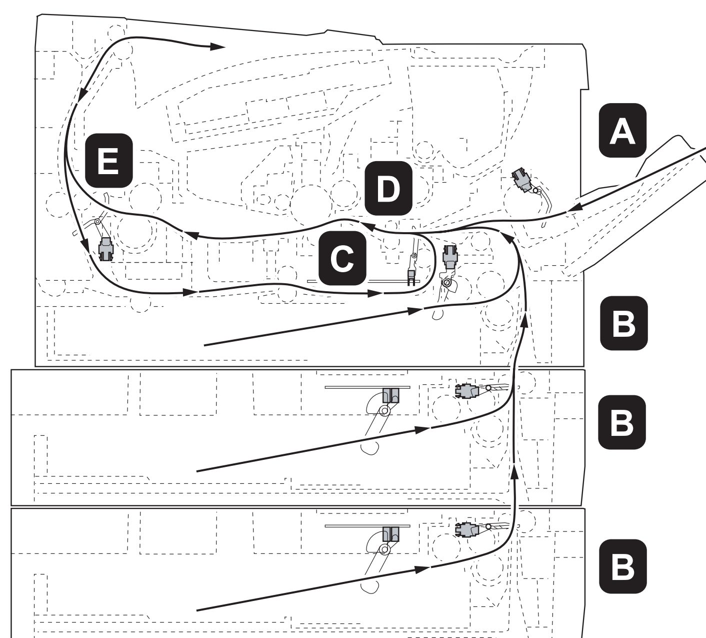
## エラー（修理）

上記の表の点灯パターンにない場合は、エラーのおそれがあります。
電源スイッチを切ってから 5 秒後に入れ直すことでことで、エラーが解消する場合もあります。それでも問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は使用説明書の最終ページを参照してください。

## 紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が**給紙カセット**より給紙されなかったときは、プリンタは自動的にオフライン状態になり、[Jam] インジケータが点灯します。**ステータスモニタ**は、紙づまりが発生したことを知らせます。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを確認して、つまった用紙を取り除いてください。。




| 紙づまりの発生位置 | 内容 | 参照ページ |
|---|---|---|
| A | **手差しトレイ**で紙づまりを起こしています。 | 5-9 ページ |
| B | プリンタ本体の**給紙カセット**、またはオプションの**ペーパーフィーダ**の**給紙カセット**で、紙づまりを起こしています。 | 5-10 ページ |
| C | **両面印刷ユニット**で紙づまりを起こしています。 | 5-11 ページ |
| D | **搬送ユニット**内部で紙づまりを起こしています。 | 5-12 ページ |
| E | **後カバー**内部で紙づまりを起こしています。 | 5-14 ページ |

### 紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられます。用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については、2-2 ページの**用紙の基本仕様**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられます。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

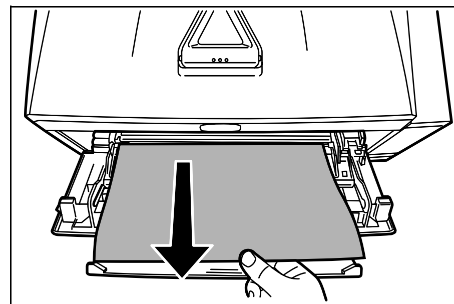
**重要**：つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内に紙片を残さないよう注意してください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

## 手差しトレイでの紙づまり

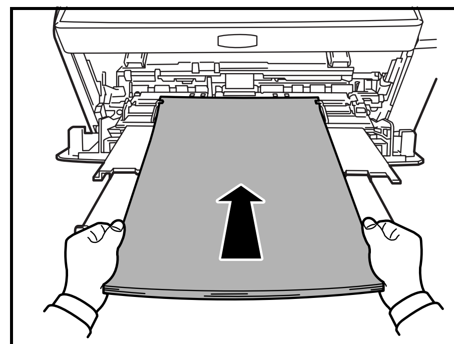
**手差しトレイ**で紙づまりが起きた場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 **手差しトレイ**につまっている用紙を取り除きます。



**重要**：用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに5-12 ページの**搬送ユニット内部での紙づまり**に進んでください。

2 **手差しトレイ**に用紙をセットしなおします。
プリンタの**上カバー**を開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



## 給紙カセットでの紙づまり

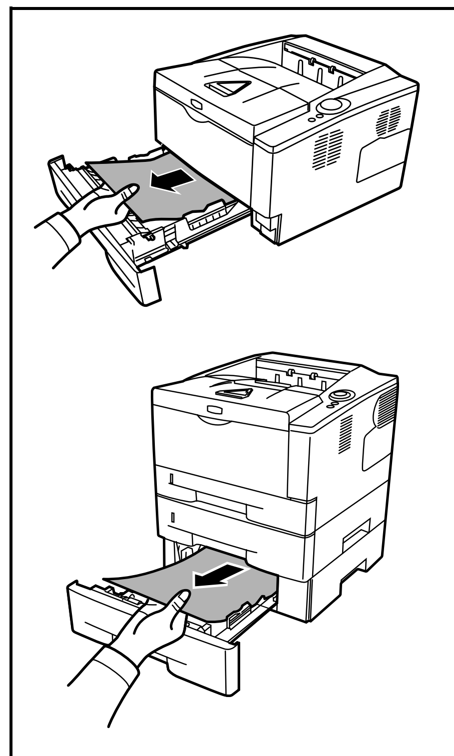
**給紙カセット**で紙づまりが起きた場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除きます。オプションの**ペーパーフィーダ**（PF-100）の**給紙カセット**で起きた紙づまりも同様に処置できます。

1 **給紙カセット**をプリンタから引き出します。

2 つまっている用紙を取り除きます。

用紙が正しくセットされていない場合は、セットしなおしてください。

**重要**：つまった用紙がプリンタ内部に達している場合は、5-12 ページの**搬送ユニット内部での紙づまり**に進んでください。



3 **給紙カセット**を奥まで押し込んで戻します。

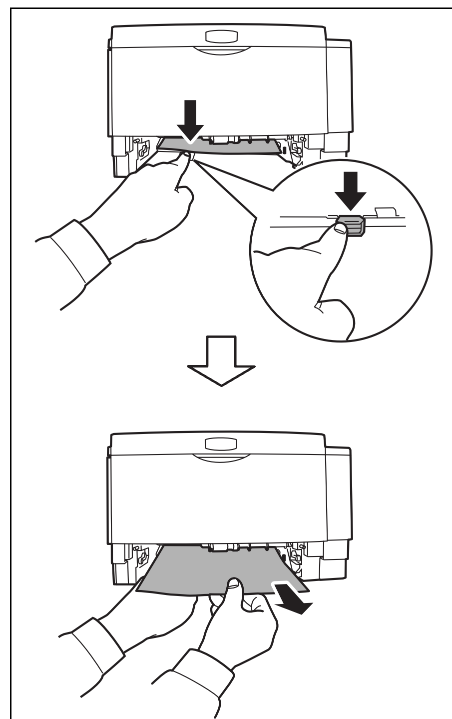
エラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

## 両面ユニットでの紙づまり

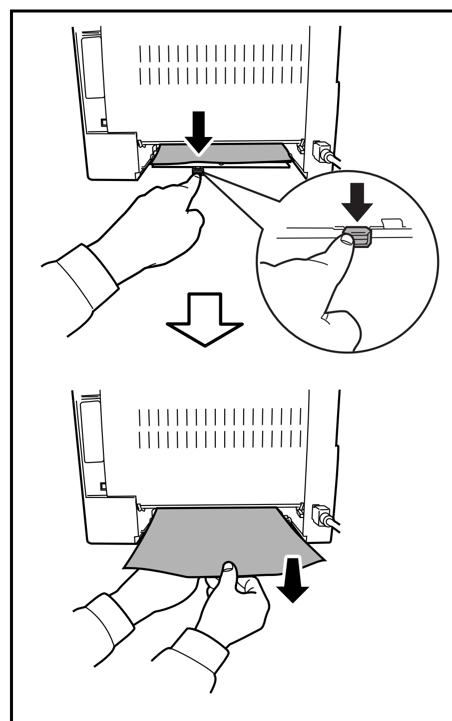
**両面ユニット**で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 **給紙カセット**をプリンタから抜き出します。

2 **両面ユニット**のレバーを押して前カバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。



**両面ユニット**のレバーを押して後カバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。

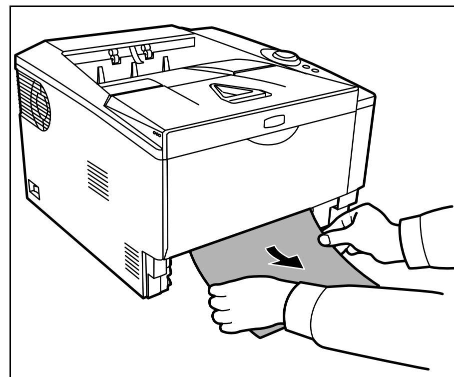


3 **給紙カセット**をプリンタに戻します。

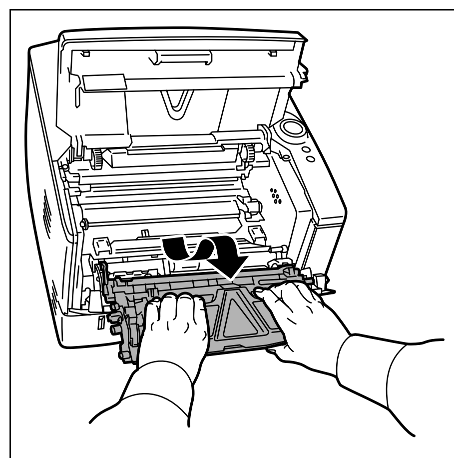
紙づまりのエラーがクリアされ、印刷を再開します。

## 搬送ユニット内部での紙づまり

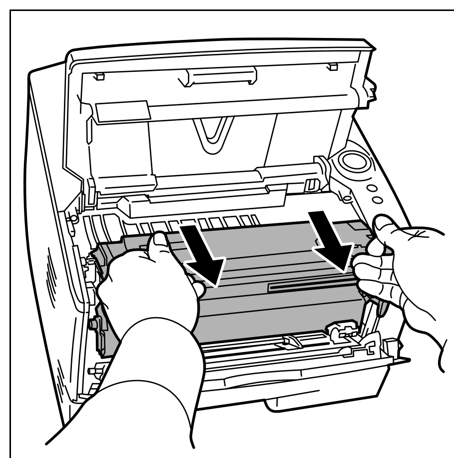
**1** 給紙カセットを引き出し、つまっている用紙を図のように取り除きます。



**2** **上カバー**と**前カバー**を開け、トナーコンテナと一緒に**現像ユニット**をプリンタから取り出します。



**3** 緑色の取っ手を両手で持ち、**ドラムユニット**を取り外します。

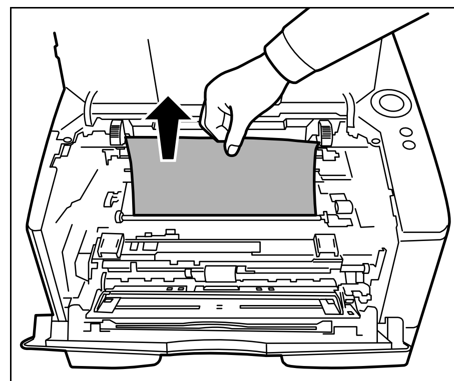




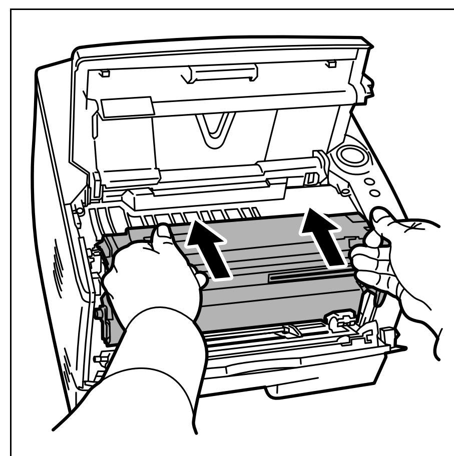
**注意：ドラムユニットを取り外すと、高温になっている部分があります。やけどのおそれがありますのでご注意ください。**

**重要**：ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

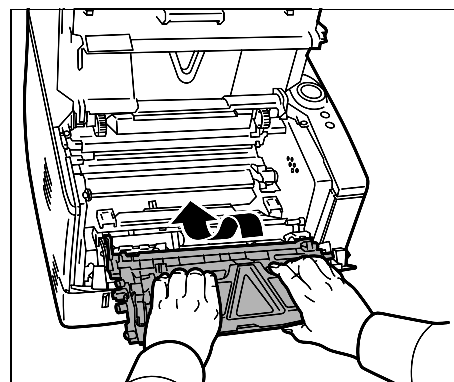
**4** つまった用紙が**レジストローラ**に挟まれている場合は、用紙が送られる方向に用紙を引き出します。



**5** **ドラムユニット**をプリンタの左右のガイドに合わせてプリンタに戻します。

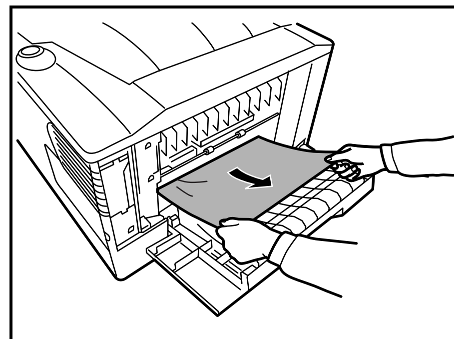


**6** **現像ユニット**をプリンタに戻し、**上カバー**と**前カバー**を閉じます。エラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



## 後カバー内部での紙づまり

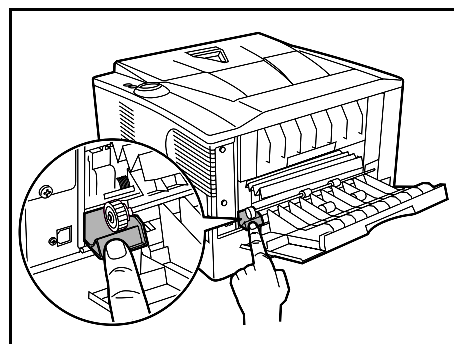
1 **後カバー**を開け、つまった用紙を引き出して取り除きます。





**注意：定着部は高温になっています。やけどのおそれがありますので注意してください。**

つまった用紙が定着カバーの中に挟まれている場合は、レバーを押して定着カバーを開け、用紙を取り除きます。



2 **後カバー**を閉じてから、上カバーを開閉します。
エラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

# 6　オプションについて

本章では、本機に装着できるオプションについて説明します。

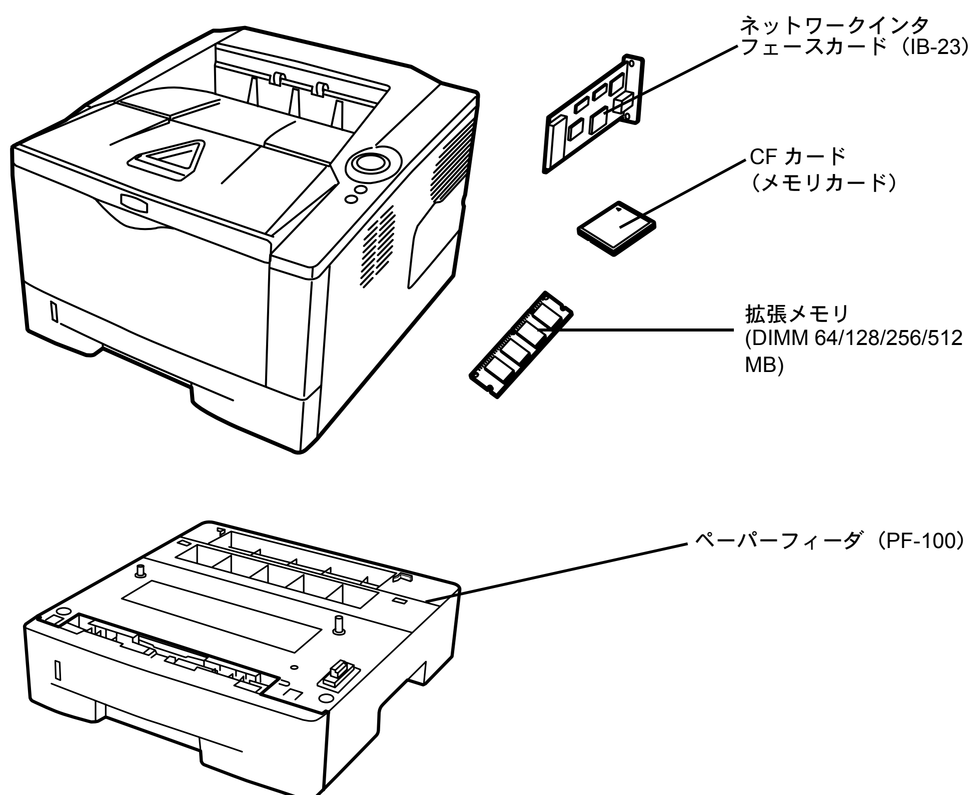
# オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。

オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

**参考**：拡張メモリは、ペーパーフィーダよりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。



# 拡張メモリ

メモリを増設すると、写真や色を多く使用している描画、情報量の多いデータなどの印刷がしやすくなります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 544MB までプリンタのメモリを拡張できます。

**重要**：拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は最終ページを参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 対応拡張メモリ

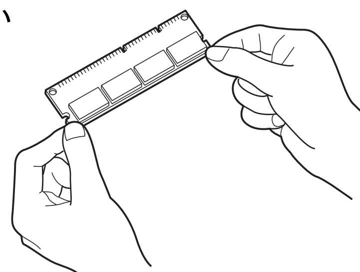
拡張メモリには、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

## メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

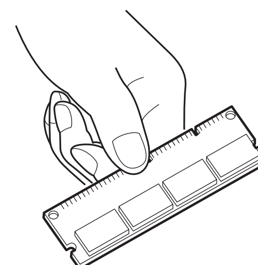
衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。

良い



悪い

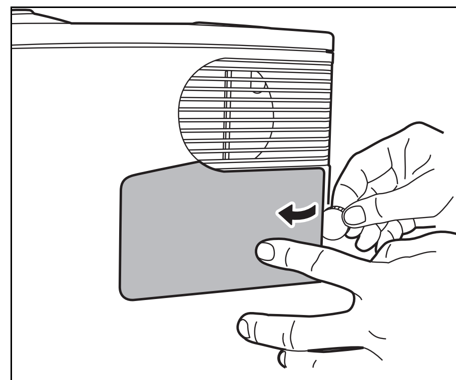


## メモリの取り付け

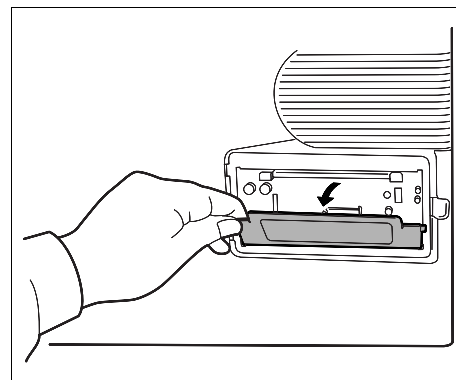
作業をするには十分なスペースを確保してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外します。

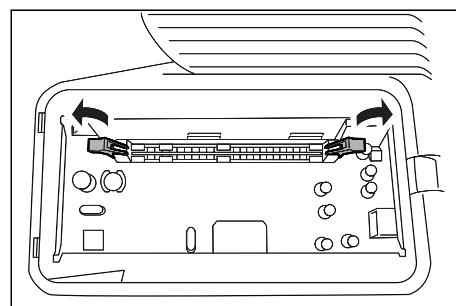
2 コインなどを使って、**右カバー**を取り外します。カバーが落ちないよう、片方の手で支えてください。



3 はじめてメモリを取り付ける場合は、**メモリスロットカバー**を固定しているテープを取り外します。そして、図のように**メモリスロットカバー**を開けます。

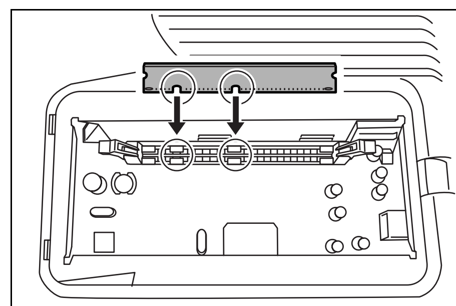


4 ソケット両端にある**ストッパ**を外側に開きます。

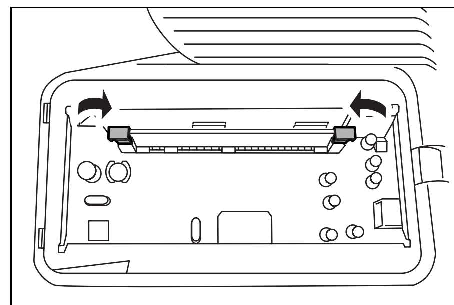


5 オプションの**拡張メモリ**をパッケージから取り出します。

6 メモリの端子部を下側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせてまっすぐに差し込みます。



7　**ストッパ**が閉じて、装着した**拡張メモリ**が固定されます。



8　**メモリスロットカバー**と**右カバー**を取り付けます。

## 拡張メモリの取り外し

取り付けた**拡張メモリ**を取り外す場合は、**右カバー**と**メモリスロットカバー**を開け、ソケット両端にある**ストッパ**を外側に開きます。**拡張メモリ**はソケットから外れます。

## 拡張メモリの確認

**拡張メモリ**を装着後、正しく装着されたか次の方法で確認します。

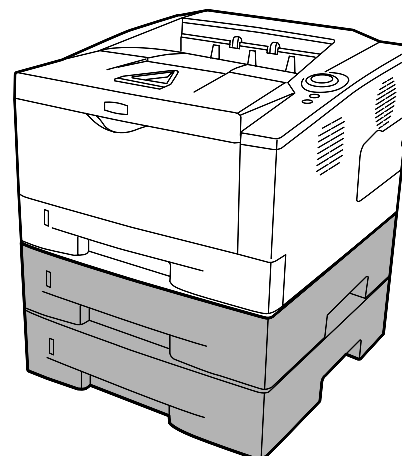
1　プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードとプリンタに接続していたケーブルを元に戻し、プリンタの電源を入れます。

2　［Ready］インジケータが点灯している状態で、操作パネルの［GO］キーを 3 秒から 9 秒間押します。

3　ステータスページが印刷されるので、表示されているメモリの容量を確認してください。メモリの増設が正しく行われていれば、装着したメモリの情報が表示され、トータルメモリの表示が増加しています。（工場出荷時のメモリサイズは 32 MB です。）

## ペーパーフィーダ（PF-100）

オプションのペーパーフィーダ PF-100 には、A5 から A4/Legal サイズで普通紙（64g/m²）を約 250 枚の用紙を収納できます。プリンタの下に 2 台重ねて装着できるので、プリンタの**給紙カセット**と合わせると最大 750 枚を連続給紙できます。ペーパーフィーダ付属の**給紙カセット**で使用できる用紙は、本体と同様です。



ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の**インストールガイド**を参照してください。

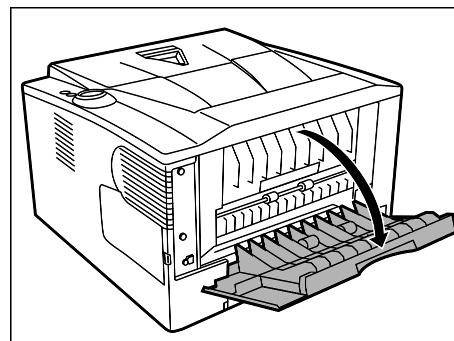
# ネットワークインタフェースカード（IB-23）

**ネットワークインタフェースカード**は、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルをサポートしているので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷ができます。

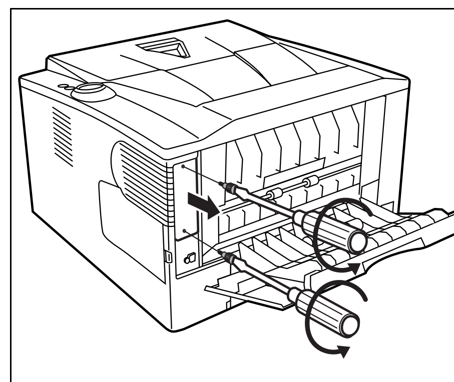
次の手順に従って、**ネットワークインタフェースカード**を装着してください。その際、カードに付属している説明書もあわせてお読みください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードおよび、プリンタケーブルを取り外します。

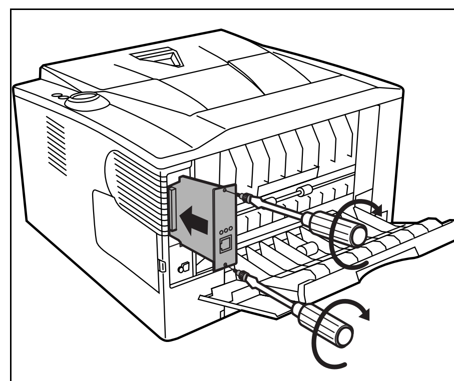
2 **後カバー**を開けます。



3 ネジ 2 本を外して**オプションインタフェースカードスロットカバー**を取り外します。



4 **ネットワークインタフェースカード**を挿入し、手順 3 で外したネジ 2 本で固定します。



5 **後カバー**を閉め、ネットワークケーブルを接続します。

6 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードとプリンタに接続していたケーブルを元に戻し、プリンタの電源を入れます。

7 Quick Setup からネットワークアドレスを設定します。詳細についてはネットワークインタフェースカードの使用説明書を参照してください。

## CF カード（メモリカード）

**CF カード**はオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込みます。

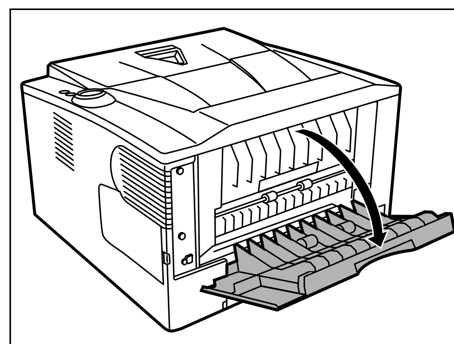
本機で使用できるメモリカードについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページをご覧ください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードおよび、プリンタケーブルを取り外します。

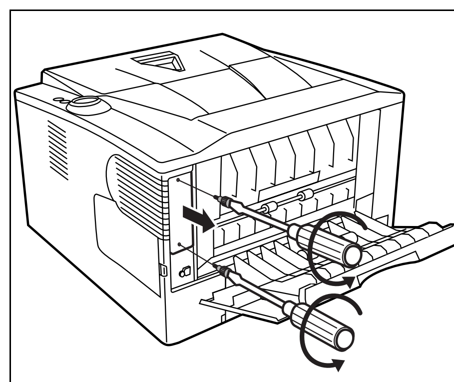


**注意：プリンタの電源を入れたまま CF カードを差し込んだり、抜いたりしないでください。プリンタの電源を入れたまま CF カードを抜くと、プリンタ内部の電子部品や CF カードが破損することがあります。**

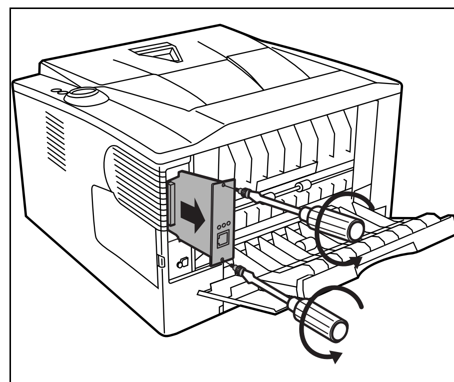
2 **後カバー**を開けます。



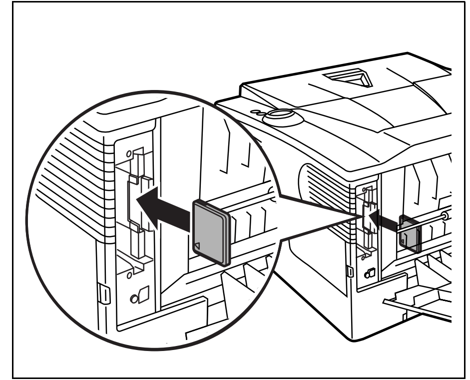
3 ネジ 2 本を外して、**オプションインタフェースカードスロットカバー**を取り外します。



**ネットワークインタフェースカード**が接続されているときは、取り外してください。



**4** CF **カード**を**メモリカードスロット**に差し込みます。ラベル面を右側に向け、止まるまで押し込みます。



**5** 手順 3 で外したネジ 2 本で、**オプションインタフェースカードスロットカバー**または**ネットワークインタフェースカード**を固定します。

**6** **後カバー**を閉めます。

**7** プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードとプリンタに接続していたケーブルを元に戻し、プリンタの電源を入れます。

装着後は CF **カード**のフォーマットが必要です。フォーマットについては、CF **カード**の使用説明書を参照してください。

# 7 環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。本章では FRPO コマンドと、そのパラメータの使用例を説明します。

# 環境設定コマンド

現在の FRPO パラメータの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

---

**参考**：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。印刷のしかたについては、1-5 ページの**キーの機能**を参照してください。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

---

FRPO コマンドは以下の書式で実行します。

```
!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;
```

例－エミュレーションを IBM proprinter に設定

```
!R! FRPO P1, 1; EXIT;
```

# 各インタフェース独立 FRPO パラメータ

*1:　エミュレーションによっては無視されます。
*2:　オプション品装着時に有効です。
*3:　設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| 上マージン *1 | A1<br>A2 | インチ単位の整数部分<br>1/100 インチ単位の小数部分 | 0<br>0 |
| 左マージン *1 | A3<br>A4 | インチ単位の整数部分<br>1/100 インチ単位の小数部分 | 0<br>0 |
| ページの長さ *1 | A5<br>A6 | インチ単位の整数部分<br>1/100 インチ単位の小数部分 | 17<br>30 |
| ページの幅 *1 | A7<br>A8 | インチ単位の整数部分<br>1/100 インチ単位の小数部分 | 17<br>30 |
| ページ方向 | C1 | 0:　縦置き（ポートレート）<br>1:　横置き（ランドスケープ） | 0 |
| 起動フォント *1 | C2<br>C3<br>C5 | 起動フォント番号の中 2 桁<br>起動フォント番号の最後 2 桁<br>起動フォント番号の最初の 2 桁 | 0<br>0<br>0 |
| PCL フォント選択範囲 | C8 | 0:　全内部フォントを選択対象とする<br>1:　ビットマップフォントを対象外とする | 0 |
| インタフェースタイムアウト | J2 | 0 ～ 99　5 秒単位（0: オフ） | 1（5秒） |
| エミュレーションモード | P1 | 0:　Line printer<br>1:　IBM proprinter<br>2:　DIABLO 630<br>5:　EPSON LQ-850<br>6:　PCL 6<br>9:　KPDL | 6 |
| キャリッジリターンの処理 *1 | P2 | 0:　無視<br>1:　CR<br>2:　CR+LF | 1 |
| 改行の処理 *1 | P3 | 0:　無視<br>1:　LF<br>2:　CR+LF | 1 |
| KPDL 自動切り替え *2 | P4 | 0:　なし<br>1:　自動切り替え | 0 |
| KPDL 自動切り替え先エミュレーション *2 | P5 | P1 と同じ（9 を除く） | 6 |

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| AES オプション 1<br>自動エミュレーション切り替え（AES）が起動するページ排出コマンド および処理動作 *2 | P7 | **AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、KPDL で処理**<br>0:　すべてのページ排出コマンド<br>1:　なし<br>2:　すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンド<br>3:　プリスクライブ EXIT コマンドのみ<br>4:　^L コマンドのみ<br>6:　プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンド<br>**AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理**<br>10: KPDL 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理 | 10 |
| AES オプション 2 - プリスクライブ !R! コマンド受信後のエミュレーション | P8 | 0:　現在のエミュレーション<br>1:　初期設定エミュレーション（P1）に変更<br>2:　代替エミュレーション（P5）に変更 | 2 |
| 行間隔 *1 | U0 | インチあたりの行数 / 整数部分 | 6 |
| 行間隔 *1 | U1 | インチあたりの行数 / 小数部分 | 0 |
| 文字間隔 *1 | U2 | インチあたりの文字数 / 整数部分 | 10 |
| 文字間隔 *1 | U3 | インチあたりの文字数 / 小数部分 | 0 |
| 内蔵フォントの国別コード | U6 | シンボルセット値の下 2 桁 | 41 |
| コードセット | U7 | シンボルセット値の上 2 桁<br>（シンボルセット値＝ U7-50 × 100 ＋ U6） | 53 |
| デフォルトフォントピッチ | U8 | インチあたりの文字数／整数部分：00 ～ 99 | 10 |
| | U9 | インチあたりの文字数／小数分：00 ～ 99 | 0 |
| 初期 ANK アウトラインフォントサイズ *1 | V0 | 起動時の ANK アウトラインフォントサイズの整数<br>上位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 09 | 0 |
| | V1 | 起動時の ANK アウトラインフォントサイズの整数<br>下位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 99 | 12 |
| | V2 | 起動時の ANK アウトラインフォントサイズの小数 2 桁<br>設定有効値：00, 25, 50, 75 | 0 |
| 初期 ANK アウトラインフォント名 *1 | V3 | 起動時の ANK アウトラインフォント名（最大 31 文字） | Courier |

# インタフェース共有 FRPO パラメータ

*1: エミュレーションによっては無視されます。
*2: オプション品装着時に有効です。
*3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| 起動時のパターン解像度 | B8 | 0: 300 dpi<br>1: N8 と同じ | 0 |
| 部数設定 | C0 | 0 ～ 250 | 1 |
| バッファしきい値 *3 | H6 | 0 ～ 99 受信データバッファ容量のパーセント | 90 |
| バッファフル解除のしきい値 *3 | H7 | 0 ～ 99 受信データバッファサイズのパーセント | 70 |
| 受信データバッファ容量 *3 | H8 | 0 ～ 99 FRPO S5 の値で積算（0:5 K バイト） | 5 |
| タイムアウトの時間 | H9 | 0 ～ 99 5 秒単位（0: オフ） | 6（30 秒） |
| ハードディスク /CF カードの起動パーティション登録 | I0 | 15 バイト以内の " パーティション名 " または ' パーティション名 ' | "Autostart" |
| オプションインタフェース<br>ジョブ制御 *2 | I8 | 0: なし<br>1: ^L（=0CH）を付加<br>2: ^D（=04H）を付加<br>3: ^L（=0CH）+^D（=04H）を付加<br>7: ^D（=04H）+^L（=0CH）を付加 | 0 |
| ステータス送信制御 | M1 | 0: なし<br>1: ステータスを送信 | 0 |
| 起動時のインタフェース *3 | M2 | 3: オプションインタフェース<br>5: USB インタフェース | 5 |
| バッファ容量オプション *3 | M3 | 0: 自動<br>1: バッファ容量を指定（固定）<br>プリンタの各インタフェースのバッファサイズは、M6 と M8 のバッファ比率を指定 | 1 |
| バッファ容量比率（1）*3 | M4 | 第 1 バッファの比率 | 1 |
| バッファ容量比率（2）*3 | M5 | 第 2 バッファの比率 | 3 |
| バッファ容量比率（3）*3 | M6 | 第 2 バッファの比率（ネットワークインタフェース） | 10 |
| バッファ要領比率（5）*3 | M8 | 第 5 バッファの比率（USB インタフェース） | 5 |
| KIR の設定 | N0 | 0: オフ<br>2: オン | 2 |
| 両面印刷モードの選択 | N4 | 0: オフ<br>1: ロングエッジモード（長辺とじ）<br>2: ショートエッジモード（短辺とじ） | 0 |
| スリープタイマ時間 | N5 | 1 ～ 48 5 分単位（5 ～ 240 分） | 3（15 分） |
| エコプリントの設定 | N6 | 0: オフ<br>2: オン | 2 |
| システム解像度 | N8 | 0: 300 dpi<br>1: 600 dpi<br>3: 1200 dpi | 1 |
| PCL リソース保護 | N9 | 0: オフ<br>1: パーマネントリソースを保護して環境をリセット<br>2: パーマネント / テンポラリリソースを保護 | 1 |

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| コマンド認識文字 | P9 | 33 ～ 99 の ASCII コード | 82 (R) |
| 自動カセット切り替え | R1 | 0:　オフ<br>用紙がなくなった際に、指定の給紙カセット間で自動切り替え<br>1:　給紙カセット 1 ←→ 2<br>2:　給紙カセット 1 ←→ 3<br>3:　給紙カセット 2 ←→ 3<br>4:　給紙カセット 1 ←→ 2 ←→ 3<br>99: プリンタに装着しているすべてのペーパーフィーダ間で切り替えを行う（手差しトレイが優先モードの場合を除く）。 | 99 |
| 用紙サイズ | R2 | 0:　給紙カセットのサイズ<br>4:　Envelope C5<br>5:　Excective<br>6:　Letter<br>7:　Legal<br>8:　ISO A4<br>9:　JIS B5<br>13: ISO A5<br>14: ISO A6<br>18: ISO B5<br>19: Custom<br>33: Oficio II<br>40: 16K<br>50: Statement<br>51: Folio | 0 |
| 初期給紙元 | R4 | 0:　手差しトレイ<br>1:　カセット 1<br>2:　カセット 2（ペーパーフィーダ）<br>3:　カセット 3（ペーパーフィーダ） | 1 |
| ページ保護モード | R5 | 1:　自動<br>4:　オン | 1 |

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| 手差しトレイの用紙サイズ | R7 | 0:  給紙カセットのサイズ<br>1:  Envelope Monarch<br>2:  Envelope #10<br>3:  Envelope DL<br>4:  Envelope C5<br>5:  Excective<br>6:  Letter<br>7:  Legal<br>8:  ISO A4<br>9:  JIS B5<br>13: ISO A5<br>14: ISO A6<br>15: JIS B6<br>16: Envelope #9<br>17: Envelope #6<br>18: ISO B5<br>19: Custom<br>31: はがき<br>32: 往復はがき<br>33: Oficio II<br>40: 16K<br>50: Statement<br>51: Folio<br>52: 洋形 2 号（封筒）<br>53: 洋形 4 号（封筒） | 8 |
| ディジーホイール・データビット<br>（Diablo 630 エミュレーション時） | R8 | 7: 7 ビット<br>8: 8 ビット | 7 |
| A4/ レターサイズの共通給紙 | S4 | 0:  オフ<br>1:  オン | 0 |
| ホストバッファ容量積算値<br>（H8 の値と積算） | S5 | 0:  10 KB<br>1:  100 KB<br>2:  1 MB | 1 |
| RAM ディスク容量 | S6 | 1 ～ 1024（MB）<br>（使用できる容量は、［プリンタの総メモリ］ － ［24 MB］） | 50 |
| RAM ディスクモード | S7 | 0:  オフ<br>1:  オン | 0 |
| 手差しトレイ給紙モード *3 | T0 | 0:  カセットモード<br>1:  優先モード | 1 |
| 給紙カセットの用紙サイズ *3 | T1 | パラメータは R2 と同じ（0 と 14 を除く） | 8 |
| ペーパーフィーダ 1 の用紙サイズ *3 | T2 | パラメータは R2 と同じ（0 と 14 を除く） | 8 |
| ペーパーフィーダ 2 の用紙サイズ *3 | T3 | パラメータは R2 と同じ（0 と 14 を除く） | 8 |
| ワイド A4 モード<br>（10 pt ピッチ、78 字 / 行） | T6 | 0:  オフ<br>1:  オン | 0 |
| 起動時のステータスページの印刷 | U5 | 0:  印刷しない<br>1:  印刷する | 0 |

| 項目 | FRPO | 設定値 | 工場設定 |
|---|---|---|---|
| クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択 *3 | V9 | 0: クーリエ＝ダーク<br>レターゴシック＝ダーク<br>1: クーリエ＝レギュラー<br>レターゴシック＝ダーク<br>4: クーリエ＝ダーク<br>レターゴシック＝レギュラー<br>5: クーリエ＝レギュラー<br>レターゴシック＝レギュラー | 5 |
| 給紙カセット選択モード（PCL） | X9 | 0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え<br>1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え | 0 |
| エラー時の自動継続印刷（［印刷可 / 解除］キーを押して解除するエラーのみ） | Y0 | 0: オフ<br>1: オン | 0 |
| 自動継続印刷時のエラー解除時間 | Y1 | 0 ～ 99　5 秒単位 | 6（30 秒） |
| EcoFuser 機能の ON/OFF 設定 | Y2 | 0: Ready 時のオンデマンド定着器のヒーターオフ<br>1: Ready 時のオンデマンド定着器のヒーターオン | 0 |

# 8 本機の仕様

**重要**：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

| 項目 | | 仕様 | |
|---|---|---|---|
| 形式 | | デスクトップ | |
| 印刷方式 | | 半導体レーザによる乾式電子写真方式 | |
| 用紙厚 | 給紙カセット | 60 ～ 120 g/m²（両面：60 ～ 105 g/m²） | |
| | 手差しトレイ | 60 ～ 220 g/m² | |
| 用紙種類 | 給紙カセット | 普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、ざら紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、上質紙、カスタム * | |
| | 手差しトレイ | 普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、ざら紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、厚紙、上質、カスタム * | |
| 用紙サイズ | 給紙カセット（本体側） | A4、JIS B5、A5、Folio、Legal、Letter、Oficio II、Statement、Executive、A6、B6、ISO B5、Envelope C5、16K、不定形（105 × 148 mm ～ 216 × 356 mm） | |
| | 給紙カセット（オプション） | A4、JIS B5、A5、Folio、Legal、Letter、Oficio II、Executive、B6、ISO B5、Envelope C5、16K、不定形（148 × 210 mm ～ 216 × 356 mm） | |
| | 手差しトレイ | A4、JIS B5、A5、Folio、Legal、Letter、Oficio II、Statement、Executive、A6、B6、ISO B5、Envelope C5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6-3/4、Envelope Monarch、Envelope DL、はがき、往復はがき、16K、洋形 2 号、洋形 4 号、不定形（70 × 148 mm ～ 216 × 356 mm） | |
| 印刷倍率 | | 20 ～ 400 %（1% 単位） | |
| 連続印刷速度（給紙カセット、手差しトレイ） | 片面印刷時 | A4 | 28 ページ / 分 |
| | | A5 | 17 ページ / 分 |
| | 両面印刷時 | A4 | 14 ページ / 分 |
| ファーストプリントタイム（本体カセットで A4） | | 6 秒以下 ** | |
| ウォームアップタイム（22 °C、60 %RH） | 電源 ON から | 約 19 秒以下 | |
| | スリープから | 約 14 秒以下 | |
| 用紙容量 | カセット 1 | 250 枚（A4 以下、64 g/m²） | |
| | カセット 2 | 250 枚（A4 以下、64 g/m²） | |
| | カセット 3 | 250 枚（A4 以下、64 g/m²） | |
| | 手差しトレイ | 50 枚（A4 以下、64 g/m²） | |

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 排紙トレイ容量 | 片面印刷時 | 250 枚（64 g/m$^2$） |
| | 両面印刷時 | 200 枚（64 g/m$^2$） |
| 連続印刷枚数 | | 1 ～ 999 枚 |
| 解像度 | | Fine 1200、Fast 1200、600 dpi、300 dpi |
| 月間平均印刷ページ数<br>（標準 A4 普通紙） | | 1,500 ページ |
| 月間最大印刷ページ数<br>（標準 A4 普通紙） | | 15,000 ページ |
| 使用環境 | 温度 | 10 ～ 32.5 °C |
| | 湿度 | 15 ～ 80 %RH |
| | 海抜 | 2,500 m 以下 |
| | 照度 | 1,500 lux 以下 |
| CPU | | PowerPC 405F5/360 MHz |
| 対応 OS | | Windows 2000 Service Pack 2 以上、Windows Server 2003、Windows XP、Windows Vista<br>Mac OS X 10.x |
| インタフェース | 標準 | Hi-Speed USB：1 |
| | オプション | ネットワークインタフェースカード<br>（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）：1 |
| ページ記述言語 | | PRESCRIBE |
| メインメモリ | 標準 | 32 MB |
| | 最大 | 544 MB |
| 本体寸法（幅×奥行き×高さ） | | 375 × 393 × 250 mm |
| 質量（トナーコンテナを除く） | | 約 10 kg |
| 電源 | | AC100 V、50/60 Hz、8.9 A |
| 消費電力 | 最大消費電力 | 961 W |
| | 通常使用時 | 460 W |
| | 待機時 | 5.6 W（EcoFuser がオンの場合） |
| | | 104 W（EcoFuser がオフの場合） |
| | 電源オフ時 | 0 W |
| オプション | | 増設メモリ、ペーパーフィーダ（250 枚 × 2 段）、<br>ネットワークインタフェースカード（IB-23） |

*　任意に設定可能
**　EcoFuserがオフの場合

## 必要な環境基準

本機は、次の環境基準を満たしています。

- スリープモード移行時間（出荷時設定）：15 分
- 両面機能：標準装備
- 給紙搬送性：古紙 100 % 配合紙使用可能

# 索引

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

KYOCERA **お客様相談窓口のご案内**

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。


# 京セラ ミタ株式会社
# 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp








**0570-046562**

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。




Rev. 1.0 2007.10

Printed in China　302HS56030